Tokyo College of Music

東京音楽大学 大学案内 2023

音楽のチカラを信じよう。

音楽のチカラで、自分を高めよう。
音楽のチカラで、仲間を増やそう。
音楽のチカラで、社会に貢献しよう。
音楽のチカラで、世の中を動かそう。
音楽のチカラで、国境を越えよう。

音楽のチカラで、未来をつくろう。

音楽学部音楽学科

声楽専攻
- 声楽芸術コース 6
- 声楽特別演奏家コース

器楽専攻
- 鍵盤楽器 ピアノ演奏家コース 8
- ピアノ
- ピアノ・創作コース
- チェンバロ ・オルガン
- 弦楽器 10
- 管打楽器 12

作曲指揮専攻
- 作曲 芸術音楽コース 14
- ミュージック・メディアコース 16
- 指揮 18

音楽文化教育専攻 20

ミュージック・リベラルアーツ専攻 22

吹奏楽アカデミー専攻 24

学長メッセージ/建学の精神と理念/ビジョン/沿革 2
都内に2つのキャンパス 4
一貫教育 5
TCMの教育 26
幅広い教養 28
グローバル教育 29
キャリア教育 30
他者との共感/社会貢献 32
奨学金/学費/就職サポート 34
進路先/採用者メッセージ 36
大学院［修士課程］ 38
大学院［博士後期課程］ 41
コンクール 42
卒業生メッセージ 44
キャンパス/施設 46

音楽の深遠さと多様性を学び
新たな時代を拓く
感性と知性を育みます。

音楽を学ぶということは、決して平たんな道ではなく、またそのルートは1本に限定されているわけではありません。皆さんがそれぞれの専攻分野で学びながら、同時に隣接分野にも触れ、音楽という奥深い領域を多面的に学んでいける場所、それが東京音楽大学です。
ここには、現役音楽家でもある教授陣、多様な専攻の学生、そして各国からの留学生との出会いに加えて、専攻の垣根を越えたアンサンブルや共同制作の豊富な体験が待っています。東京音楽大学での学びが皆さんにとって、単に演奏・作曲技術の向上に結びつくのみならず、音楽をとおした豊かな感性と知性の涵養、そして社会人基礎力を具えた人間形成の場となることを切に願っています。

学長代行　武石 みどり　Midori Takeishi

※ 野島稔前学長は2022年5月9日に逝去されました。

建学の精神と理念

東京音楽大学は、鈴木米次郎により1907年に設立された東洋音楽学校を前身とする、日本で最も古い歴史をもつ私立音楽大学です。
本学は「音楽をとおして社会に貢献する」という理念に基づき、西洋音楽に関する学問の探求と高度な音楽技量の修得を通じて教養豊かな音楽家および音楽教育者を育成してまいりました。この建学の精神は「アカデミズムと実学の両立」「音楽による社会貢献」「国際性」という教育の基本理念として、現在の学則と教育にも反映され、その結果、本学は国内外の著名なコンクールやオーディションなどの入賞者、入選者を例年多数輩出し、音楽界、教育界だけでなく、国内外の経済界にも優秀な人材を送り出しています。

大学

- 音楽学部音楽学科
  - 声楽専攻
    - ■声楽芸術コース　■声楽特別演奏家コース
  - 器楽専攻
    - 鍵盤楽器 ■ピアノ演奏家コース　■ピアノ　■ピアノ・創作コース　■チェンバロ　■オルガン
    - 弦楽器
    - 管打楽器
  - 作曲指揮専攻
    - 作曲 ■芸術音楽コース　■ミュージック・メディアコース
    - ■指揮
  - 音楽文化教育専攻
  - ミュージック・リベラルアーツ専攻
  - 吹奏楽アカデミー専攻

大学院

- 音楽研究科
  - 修士課程
    - ■器楽専攻　■声楽専攻　■作曲指揮専攻　■音楽文化研究専攻
  - 博士後期課程
    - ■音楽専攻

付属教育研究組織

- 付属図書館
- 付属民族音楽研究所
- 付属音楽教室
- 付属オーケストラ・アカデミー

付属学校

- 付属幼稚園
- 付属高等学校

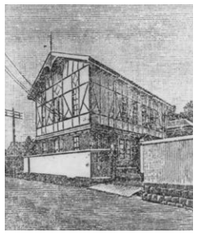
音楽文化の新たな地平を拓く

全学を挙げた先進的な活動により、音楽文化の新たな地平を拓きます。
変化し続ける社会を見据えて、音楽で感動を与え、音楽で明日をつくる人材を育成します。
音楽文化の多角的な研究を展開し、広く成果を発信します。
双方向の国際交流を活発化し、多文化が共存するキャンパスを目指します。
鋭意音楽活動を展開し、地域社会の活性化、文化力の向上に積極的に貢献します。
クリエイティブ・キャンパスを創出・運営し、構成員が自ら成長し続ける大学を実現します。

沿革

- 1907年（明治40年）　鈴木米次郎が神田裏猿楽町に東洋音楽学校を創立
- 1908年（明治41年）　管弦楽部設置
- 1924年（大正13年）　豊島区南池袋（現）に校舎移転
- 1949年（昭和24年）　付属高等学校開設
- 1950年（昭和25年）　付属幼稚園開設
- 1954年（昭和29年）　東洋音楽短期大学設立
- 1963年（昭和38年）　東洋音楽大学（4年制）に移行
- 1969年（昭和44年）　東京音楽大学に名称変更
- 1974年（昭和49年）　付属音楽教室開設
- 1975年（昭和50年）　付属民族音楽研究所開設
- 1993年（平成5年）　大学院音楽研究科修士課程設置
- 2007年（平成19年）　創立100周年
  記念本館（A館）竣工
- 2014年（平成26年）　大学院音楽研究科博士後期課程設置

創立者 鈴木米次郎



創立当初の校舎

1930年代の演奏会風景

2009年 ヨーロッパ・チャリティー演奏会
ウィーン ムジークフェラインザール

進化し続ける東京音楽大学

- 2017年（平成29年）　ミュージック・リベラルアーツ専攻新設
- 2019年（平成31年）　中目黒・代官山キャンパス開校
  吹奏楽アカデミー専攻新設
- 2020年（令和2年）　付属高等学校が池袋キャンパスに移転
  音楽文化教育専攻改編
- 2021年（令和3年）　作曲指揮専攻「ミュージック・メディアコース」改編
- 2022年（令和4年）　創立115周年
  池袋キャンパスに新学生寮開寮

中目黒・代官山キャンパス
（2019年4月開校）

中目黒駅と代官山駅からそれぞれ徒歩約5分という立地のよさに加え、都心でありながら豊かな緑の中で芸術性・創造性を育む環境です。
最先端の音響設備を備えたTCMスタジオは、全専攻の学生が利用可能です。TCMホールは、最適な響きの中で演奏・鑑賞ができ、地域の方々にも来ていただける演奏会が年間多数開催されています。80室以上あるレッスン室、大・中・小教室、クリエイティブラボなど、優れた環境で集中でき、学生たちの学修意欲・創作意欲、また研究意欲を大いに刺激します。本学最新の取り組みを社会に発信する拠点です。

池袋キャンパス

池袋駅から徒歩約15分、地下鉄副都心線雑司が谷駅から徒歩約5分、都心であるにもかかわらず社寺が散在し、ノスタルジーを感じる街並みに立地しています。
806席ある100周年記念ホールを擁する100周年記念本館では、明るく開放的な空間の中で練習に没頭できます。また、2020年度より、付属高等学校を池袋キャンパスに移転することにより、敷地内に、付属幼稚園から付属高等学校、大学院まで一貫教育の環境が整えられました。加えて、付属図書館や付属民族音楽研究所も併設し、生涯にわたる教育・研究の拠点となります。
2022年4月、敷地内に新学生寮が開寮しました。

生涯をとおした音楽の一貫教育

東京音楽大学には、大学、大学院（修士課程、博士後期課程）のほかに、付属高等学校、付属幼稚園、付属音楽教室に加えて、付属民族音楽研究所、付属図書館も設置され、それぞれの特色を生かした教育・研究システムと最新の設備環境が用意されています。社会人を対象としたコースも豊富で、生涯をとおした音楽の一貫教育が展開されています。

付属幼稚園

1950年に開園。音楽を取り入れたきめ細かい保育を行うとともに、音楽大学の付属機関である特色を最大限に生かした音楽教育を行っています。また、早期から英語教育を取り入れ、「聞く」「話す」ことが楽しく自然に身につく指導をしています。保育活動、演奏会、実技個人レッスンなどで学んださまざまな力は、豊かな人間性を育てる礎となるでしょう。

付属音楽教室

徹底したマンツーマン指導で行われる実技レッスンと、音感を育てるソルフェージュ授業により、大学付属の教室として総合的な音楽教育が行われています。忍耐力・想像力・コミュニケーション力を育む、各人の能力に合わせた指導も行っています。在室生の多くは音楽コンクールで優秀な成績を収め、付属高等学校、東京音楽大学に進学しており、国際的に活躍する演奏家も輩出しています。

付属高等学校

1932年に創立。レッスンは、大学の教授陣によって行われ、一人ひとりの実力、能力に見合った指導により、生徒の技術力、表現力、感性が磨かれ、音楽の総合力が高められていきます。
2020年度より高等学校は池袋キャンパスに移転しました。これを機に高大一貫教育をさらに進化させ、特色ある高大連携カリキュラムの構築が実現します。

大学　**大学院**

付属図書館

池袋キャンパスの図書館を拠点に、中目黒・代官山キャンパスでは専門書を配したStudy Area(自習室) およびサービスカウンターと連携・運用しています。学内外で使える学術情報データベース、電子書籍・ジャーナル、音楽配信なども適宜拡充しています。

付属民族音楽研究所

元学長の作曲家、伊福部昭により1975年に創設された日本の私立音楽大学で唯一の民族音楽研究所。アイヌの音楽、インドネシアのガムラン音楽や沖縄の音楽、明清楽ほか邦楽を含むアジア地域の音楽の理論と実技、社会人教育など、世界のさまざまな音楽の研究ならびに教育支援にあたっています。

付属オーケストラ・アカデミー

2022年4月開設の付属オーケストラ・アカデミーは、大学卒業以上の方を対象に、高度な演奏技術を教授し、オーケストラ奏者として国内外の職業オーケストラで活躍し、聴衆を魅了する演奏力をもつ音楽家を育成することを目的としています。

世界を魅了する声楽家を目指して。

声楽専攻 Vocal Music

世界でたったひとつの自分の声を「楽器」として育て上げるために、基礎的な発声法などを学びます。
本学の伝統である多角的かつ複数の教員から受けられる手厚い指導と充実したカリキュラムで、
学生一人ひとりがもつ可能性を見出し、磨き上げ、目指す道へ進む力を育みます。

【1年次:全員】 声楽芸術

- 基礎的な発声法を学びながら「舞台基礎入門講座」でオペラはもちろん、すべての舞台表現の基礎を学びます。

【2〜4年次】 声楽芸術コース

- あらゆる歌のシーンで活躍できるよう、歌曲からオペラ、ミュージカルまで、本人の希望に合わせたさまざまなジャンルの曲のレッスンが可能です。
- 「オペラ実習」では、声楽家、演出家、指揮者による手厚い指導が行われます。

声楽特別演奏家コース

- 「特別実習」では、声楽家、演出家、指揮者らの指導のもと、高度で実践的な授業が展開されます。
- 2年次からの本コースへの在籍生は、定期実技試験の成績などにより決まります。

Message

教授 菅 有実子 Yumiko Kan

プロの稽古場さながらの実践的な授業を、学生一人ひとりの個性や成長度合いに合わせて。

声楽専攻の最大の特色は、各学年に舞台芸術系の授業が用意されていることです。歌、指揮、演出、発音など専門の教員がチームとなって、一人ひとりの学生に対して指導にあたっており、それはプロフェッショナルのオペラ公演の稽古場さながらです。とはいえ、声や成長の速度は一人ひとり違うので、それぞれの学生に合った配役や場面を考えるなど、丁寧な指導を心がけています。このような授業を通じて歌唱表現、身体表現(演技)はもとより、将来オペラやミュージカルの舞台に立つ時に必要なステージマナー、ストーリーや役柄の深い掘り下げなどをさまざまな角度から実践的に学んでいきます。そして、授業の集大成が試演会です。ひとつの舞台を踏むことによって人は大きく成長します。「オペラやミュージカルをやってみたい」という夢をもったら、全力でチャレンジしていただきたい。東京音楽大学は皆さんの夢を受け止め、手厚くサポートしようという教員がそろっています。

卒業生からのメッセージ

学びと出会いに感謝。

充実した環境と熱心な先生方の下で学んだ学生生活は、時に苦しいこともありましたが、自分自身と向き合うことで、あるいは友人たちと励まし合うことで乗り越えてきました。卒業して6年が経ちますが、今でも在学中にご指導いただいた先生方や、切磋琢磨した友人たちとは交流があります。また、仕事先で、先輩や同級生、後輩の方々とご一緒する機会もありました。東京音楽大学で築いた豊かな人脈は財産となって私の支えとなっています。NHK「おかあさんといっしょ」の番組は卒業しましたが、これからも音楽の力で社会に貢献していきたいと思います。

NHK Eテレおかあさんといっしょ 第21代うたのおねえさん　小野 あつこ　声楽演奏家コース 2014年大学卒業　2016年大学院修了

主なカリキュラム

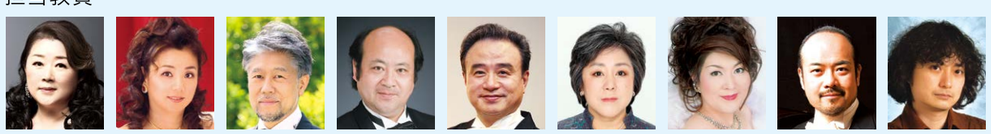
		1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目	声楽実技 合唱	声楽実技 合唱	声楽実技 合唱	声楽実技 合唱 卒業演奏
	専門基礎科目	ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論	ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声		
	英語	英語コミュニケーション	外国語 *1		

*1: イタリア語・ドイツ語・フランス語から1科目以上(1年次から4年次の間に履修)

【選択科目】 専攻科目: 舞台基礎入門講座、特別実習、オペラ実習、フランス歌曲、ドイツ歌曲、ヴォイストレーニング、ドイツ語歌詞研究、ドイツ語オペラ台本研究、イタリア語歌詞研究、イタリア語オペラ台本研究

カリキュラムの詳細はホームページをご覧ください。

担当教員



釜洞 祐子　菅 有実子　小森 輝彦　志村 文彦　服部 洋一　水野 貴子　横山 恵子　佐野 成宏　栗國 淳(演出)

【教授】 釜洞 祐子　菅 有実子　小森 輝彦　志村 文彦　服部 洋一　水野 貴子　横山 恵子
【客員教授】 佐野 成宏
【准教授】 秋山 隆典　木下 美穂子　立原 ちえ子　伊達 英二　星 洋二　緑川 まり
【特任准教授】 杉野 正隆
【専任講師】 安達 さおり　五日市 田鶴子　菅野 宏昭　萩原 みか
【講師】 浅井 隆仁　川原 敦子　倉石 真　黒澤 麻美　高橋 淳　武田 正雄　田代 誠　中村 恵理　成瀬 当正　野田 ヒロ子　藤井 奈生子　藤牧 正充　嘉目 真木子　渡辺 知子　(ほか助手)

オペラ
演出 【客員教授】 栗國 淳　【専任講師】 伊藤 隆浩　【講師】 今井 伸昭　大島 尚志　久恒 秀典
身体表現 【講師】 安達 悦子　高野 知美　花柳 けい
ディクション 【講師】 エルマンノ アリエンティ

声楽伴奏(コレペティトールを含む)
【専任講師】 田島 亘祥　服部 容子
【講師】 白取 晃司　中井 徳子　濱野 基行　前田 美恵子　八木 智子　湯浅 加奈子　脇田 理佳　(ほか助手)

器楽専攻 ピアノ Piano

すべてのコースにおいて基礎能力の向上と、自身の特性と得意領域を発見できるプログラムになっています。共通するポリシーは「作品の意思を聴く人に伝えるため、演奏を学生各自の極限まで磨くこと」「人間の湧き上がる感情と意思が作品にどう投影されているかを冷静に判断する知見をもつこと」です。この演奏芸術の要となる2つを軸に、フィジカルな演奏鍛錬のみならず、作品の分析力や創作力の向上と、「学生各自がもつ作者への親和性」を最大限に引き出しながら学修します。ピアノのレッスンは、希望により複数の教員から学ぶことが可能です。2年次からの「室内楽」「ピアノ実践伴奏」では、他専攻とのコラボレーションの機会が飛躍的に増えます。
また、国内外の演奏家、指導者による「作品解釈」「指導法」、さらには、海外招聘教授によるレッスンや海外短期留学の機会など、さまざまな学修プログラムが整えられています。

ピアノ

- 基礎からステージでの演奏、また、コンクールでの演奏、さらには実際の演奏活動までを個人レッスンを中心に体得します。個人レッスンでは将来指導者を目指すための知識も豊富に得ることができます。
- 全学年対象のオーディションによる学内演奏会、3年次の定期実技試験の成績優秀者による春のコンサートがあります。

ピアノ・創作コース

- ピアノの個人レッスンに加え、楽曲創作の学修により読譜力を向上させ、自作発表までを経験できます。
- 専攻必修科目の「創作実技」(作曲)、「作曲理論基礎」(和声・対位法・管弦楽法など)は、作曲「芸術音楽コース」の教授陣による個人レッスンを主体とし、習熟度に合わせた指導が受けられます。

ピアノ演奏家コース

- 読譜力の速さと緻密さを養い、長時間の演奏プログラム、作品の様式感を徹底的に学修します。
- 定期実技試験の成績優秀者は、学外で開催される「東京音楽大学ピアノ演奏会」に出演します。

チェンバロ オルガン

- 楽器の奏法を学びながら、正統的な演奏法を身につけ、ソロのみならず合奏でも活躍できる演奏家を育成する科目とレッスンが用意されています。

エリソ ヴィルサラーゼ 客員教授

ローナン オホラ 客員教授

小川 典子 特任教授

主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目	ピアノ実技	ピアノ実技	ピアノ実技	ピアノ実技
		ピアノ初見法 ＊1		伴奏法	卒業演奏
		創作実技 ＊2	創作実技 ＊2	創作実技 ＊2	創作実技 ＊2
		作曲理論基礎 ＊2	作曲理論基礎 ＊2	作曲理論基礎 ＊2	作曲理論基礎 ＊2
	専門基礎科目	ソルフェージュ	ソルフェージュ	キーボードハーモニー ＊1	
		和声 ＊1	和声 ＊1		
		西洋音楽史概論			
	英語	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション		

【主な選択科目】 **専攻科目**：ピアノ特別実技＊4、ピアノデュオ講座、室内楽、ピアノ指導法、ピアノ指導法特講、ピアノ・プラクティカル・トレーニング＊3、作品解釈、ピアノ実践伴奏、伴奏演習、リサイタル試験、音楽形式＊4、身体表現と音楽、音楽演奏科学

＊1 ピアノコース、ピアノ演奏家コース　＊2 ピアノ・創作コースのみ　＊3 ピアノコースのみ　＊4 ピアノ演奏家コースのみ

カリキュラムの詳細は
ホームページをご覧ください。

Message

教授 石井 克典 Katsunori Ishii

常にワクワクし、新たな発想を実現する。

ピアノは初心者でもすぐにたくさんの音が出せる親しみやすい楽器です。音の組み合わせや弾き方によって、ほぼ無限の表現の可能性をもつがゆえに、奏者の個性を発揮できる非常に奥深い楽器でもあります。ピアノで自分の音楽を表現するためには、奏法だけではなく、背景にある思想や社会を学び、作曲家の内面を探ることも必要不可欠です。そうすることで、モチベーションがより明確になるだけではなく、新たな解釈、理解と発想、ジャンルを越えた活動エネルギーの源にもなると信じています。時代を経ても変わらない大切なものは何なのかを考察しながら、音楽をする上でも、社会での活動においても、常にワクワクし、新たな発想を果敢に試して実現してほしいと思います。

担当教員

石井 克典

大竹 紀子

岡田 敦子

佐藤 俊

東 誠三

迫 昭嘉

若林 顕

石附 秀美

御邊 典一

川上 昌裕

川島 基

倉沢 仁子

小高 明子

広瀬 宣行

山洞 智

ピアノ

【教　授】	石井 克典	大竹 紀子	岡田 敦子	佐藤 俊						
【客員教授】	東 誠三	エリソ ヴィルサラーゼ	菊地 麗子	迫 昭嘉	鷲見 加寿子	武田 真理	播本 枝未子	村上 隆	ローナン オホラ	若林 顕
【特任教授】	小川 典子	ギグラ カツァラヴァ								
【准 教 授】	石附 秀美	御邊 典一	川上 昌裕	川島 基	倉沢 仁子	小高 明子	広瀬 宣行	山洞 智※2		
【専任講師】	石井 理恵	稲田 潤子	長川 晶子	菊地 裕介	佐藤 彦大	仲田 みずほ	渚 智佳	西川 秀人	浜野 与志男	吉田 友昭
【特任講師】	河村 尚子	小菅 優								
【講　師】	石岡 千弘	梅根 恵	海瀬 京子	河邊 亮子	橘高 昌男	神代 麻子	江夏 真理奈	後上 聡司	越村 紅	後藤 美由紀	小林 由佳
	佐藤 智子	佐藤 展子	佐藤 由紀子	島田 美穂	相馬 泉美	智内 威雄	新見 フェイギン 浩子		野中 正	半澤 佑果	樋口 愛
	松本 愛	松本 和将	宮崎 和子	森 早苗	森山 あす香	山口 泉恵	山辺 絵理	伊賀 あゆみ※2	小倉 貴久子※4	加藤 千晶※2	清野 香子※2
		後藤 加奈※5	齋藤 一也※5	佐藤 圭奈※5	篠田 昌伸※1	竹中 勇人※3	只野 なつき※2	寺元 嘉宏※5	長井 芽乃※1	西 能希※5	野崎 玲欧※5	野宮 淳子※2
		藤井 麻理※2	古屋 晋一※1	松下 倫士※2	吉本 悟子※2	（ほか助手）						

※1: 授業担当　※2: 伴奏担当　※3: アンサンブル担当　※4: フォルテピアノ兼任　※5: 副科ピアノ担当

チェンバロ 【講　師】 大塚 直哉　　**オルガン** 【講　師】 徳岡 めぐみ

器楽専攻 弦楽器 Strings

弦楽器独特の美しく豊かな響きを追求するとともに、それぞれの感性と知識によって楽曲の様式や作曲者の意図をとらえ、どのように表現するかを探求します。また、合奏などの授業において「聴（みみ）」を育て、他と協調し、連帯感を培います。

- 週１回の個人レッスン。
- １・２年次必修の「管弦楽または合奏」と「弦室内楽」では、アンサンブルの基礎を学びます。
- 国内外招聘音楽家による公開レッスン、公開講座などを受ける機会があります。

Message

教授 神尾 真由子 Mayuko Kamio

懸命に音楽を勉強すれば、必ず力になる。

個人レッスンでは、担当の先生が演奏技術の進捗具合だけでなく、あなたの人生そのものに興味と責任をもって関わってくれます。室内楽の授業では少人数グループでの活動の難しさと楽しさ、反対にオーケストラの授業では大人数グループで何かを成し遂げることを学びます。そして楽器の練習に休日はありません。よほどのことがない限り、必ず毎日何時間かは練習するのです。そのような皆さんの努力は、必ず評価されるのです。私たちは自信をもって言えます。青春時代に音楽を勉強したことは、必ず皆さんの力になると。

主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目	弦楽器実技	弦楽器実技	弦楽器実技	弦楽器実技
		弦室内楽	弦室内楽		卒業演奏
		弦楽合奏			
		管弦楽または合奏	管弦楽または合奏		
	専門基礎科目	ピアノ（副科）			
		ソルフェージュ	ソルフェージュ		
		和声	和声		
		西洋音楽史概論			
	英語	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション		

【選択科目】 専攻科目：吹奏楽（コントラバスのみ）、管弦楽または合奏、弦室内楽、リサイタル試験

カリキュラムの詳細は
ホームページをご覧ください。

卒業生からのメッセージ

一生のものとなる助言をいただけた、オーケストラや室内楽の授業。

学生生活を思い返すと、ソロのレッスンはもちろんオーケストラや室内楽などの実技の授業が特に印象に残っています。現役で活躍されている先生方のご指導や多くの助言は、一生のものとして私の財産となっています。本番を踏む機会にも恵まれているので、日々の練習の成果を発揮する場としてぜひチャレンジしてください。大学生活では楽しいことだけでなく苦しいこともあると思いますが、それが血となり肉となります。求めれば求めた分だけ得られる環境で、実り多き大学生活を送ってください。

東京フィルハーモニー交響楽団
ヴァイオリンTutti奏者

巌築 朋美

ヴァイオリン　2015年大学院 修士課程 弦楽器研究領域修了
2011年大学卒業（東京都立芸術高等学校卒業）

担当教員

荒井 英治

© 尾形正茂
大谷 康子

神尾 真由子

© 明石一矢
木野 雅之

© 松永学
竹澤 恭子

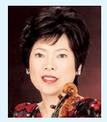
© 松嶋 惇
山口 裕之

海野 義雄

篠崎 功子

瀬戸 瑶子

藤原 浜雄


小栗 まち絵

原田 幸一郎

中村 静香

店村 眞積

百武 由紀

© 堀田正矩
苅田 雅治

ドミトリー フェイギン

© Ki Miura
鈴木 秀美

毛利 伯郎

星 秀樹

© 松嶋惇
吉田 秀

© Satoru MITSUTA
篠崎 史子

荘村 清志

ヴァイオリン	【教　　授】	荒井 英治	大谷 康子
		神尾 真由子	木野 雅之
		竹澤 恭子	山口 裕之
	【客員教授】	海野 義雄	篠崎 功子
		瀬戸 瑶子	藤原 浜雄
	【特任教授】	小栗 まち絵	原田 幸一郎
	【准　教　授】	中村 静香	
	【兼任准教授】	横山 俊朗	
	【講　　師】	東 彩子	近藤 薫
		嶋田 慶子	鈴木 亜久里
		舘市 正克	中川 直子
ヴィオラ	【客員教授】	店村 眞積	百武 由紀
	【講　　師】	大野 かおる	佐々木 亮
チェロ	【教　　授】	苅田 雅治	
		ドミトリー フェイギン	
	【客員教授】	鈴木 秀美	毛利 伯郎
	【専任講師】	山本 裕康	
	【講　　師】	門脇 大樹	三森 未来子
コントラバス	【客員教授】	星 秀樹	吉田 秀
	【講　　師】	永島 義男	西山 真二
		幕内 弘司	
ハープ	【客員教授】	篠崎 史子	
	【講　　師】	柏原 靖子	
クラシックギター	【客員教授】	荘村 清志	
	【講　　師】	江間 常夫	
管弦楽・合奏	【講　　師】	杉浦 美知	
弦（ピアノ伴奏）	【講　　師】	百武 恵子	諸田 由里子
		山崎 早登美	

器楽専攻 管打楽器 Wind and Percussion

世界的に活躍している著名な教授陣から受けるレッスンによって、高度な技術と豊かな表現力をもった音楽家の育成を目指します。独奏だけでなく合奏技術を高め、複数の楽器に関する幅広い知識を獲得します。多様な合奏形態を経験することにより、他者に対する思いやりや社会性を養います。
シンフォニック ウインド アンサンブルおよびシンフォニーオーケストラでは、合奏授業の集大成として学外で定期演奏会を実施するほか、多数の演奏会を行い、経験を積みます。また、国内外の招聘音楽家による公開レッスンや公開講座などを受ける機会があります。

- 1年次は、「管弦楽または合奏」で同属合奏や木管五重奏、金管五重奏などで合奏の基礎を学びます。
- 2年次以上は、オーケストラを学び、全員がさまざまな演奏会で活躍できます。
- 「吹奏楽」では、1年次より合奏の基礎から応用まで段階を踏んで学び、全員で数多くの演奏会を経験します。
  また将来、吹奏楽の指導者として必要となる能力も総合的に修得します。

Message

教授 外囿 祥一郎 Shoichiro Hokazono

個性を尊重し、仲間とともに学ぶ4年間。

管打楽器はアンサンブルでの力量がひときわ重要視される楽器です。本学では1年次に同属楽器や木管五重奏などの合奏により、アンサンブルの基礎と自分の専門以外の楽器の特性を徹底的に身につけることからはじめ、段階的に管打楽器によるオーケストラ・スタディーズ、そしてフルオーケストラでのアンサンブル技術を学びます。1年次よりこのようなアンサンブルを要とした実践的な学びの場をとおしてさまざまな演奏者と触れ合うことで、音楽における言葉を越えたコミュニケーション力を身につけるだけでなく、協調性をもって互いの個性を尊重するという社会において重要なスキルを身につけます。またこの学びの場では、国内外で活躍する現役音楽家でもある指導陣が経験上蓄積してきたノウハウをもとに、一人ひとりの個性と向き合い直接アドヴァイスをします。個々の演奏技術向上を目指しつつ、仲間との関わりの中で心を育み、音楽を必要とするさまざまな場で活躍する人材を育てます。

主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目	管打楽器実技	管打楽器実技	管打楽器実技	管打楽器実技
		吹奏楽	吹奏楽	吹奏楽	卒業演奏
		管弦楽または合奏	管弦楽または合奏		
	専門基礎科目	ピアノ（副科）			
		ソルフェージュ	ソルフェージュ		
		和声	和声		
		西洋音楽史概論			
	英語	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション		

【選択科目】 専攻科目：吹奏楽、管弦楽または合奏、室内楽、リサイタル試験、管打指導法

カリキュラムの詳細は
ホームページをご覧ください。

担当教員

工藤 重典

中野 真理

宮本 文昭

古部 賢一

四戸 世紀

野田 祐介

伊藤 圭

松本 健司

水谷 上総

小串 俊寿

水野 信行

福川 伸陽

アンドレ アンリ

津堅 直弘

杉本 正毅

栗田 雅勝

新田 幹男

外囿 祥一郎

神谷 百子

菅原 淳

宮崎 泰二郎

久保 昌一

フルート
【教　　授】 工藤 重典
【准 教 授】 中野 真理
【講　　師】 相澤 政宏　甲斐 雅之
神田 勇哉　三上 明子

オーボエ
【客員教授】 宮本 文昭
【准 教 授】 古部 賢一
【講　　師】 荒 絵理子　南方 総子

クラリネット
【客員教授】 四戸 世紀
【准 教 授】 野田 祐介
【兼任准教授】 伊藤 圭　松本 健司
【講　　師】 イシュトヴァーン コハーン
重松 希巳江

ファゴット
【兼任教授】 水谷 上総
【講　　師】 宇賀神 広宣

サクソフォーン
【教　　授】 小串 俊寿
【講　　師】 波多江 史朗
平野 公崇
本堂 誠

ホルン
【客員教授】 水野 信行
【准 教 授】 福川 伸陽
【講　　師】 勝俣 泰
冨成 祐一
日橋 辰朗
吉永 雅人

トランペット
【教　　授】 アンドレ アンリ
【客員教授】 津堅 直弘
【准 教 授】 杉本 正毅
【講　　師】 高橋 敦　辻本 憲一
長谷川 智之

トロンボーン
【教　　授】 栗田 雅勝
【兼任准教授】 新田 幹男
【講　　師】 井口 有里　岸良 開城

バス・トロンボーン
【講　　師】 野々下 興一

テューバ
【講　　師】 荻野 晋　次田 心平

ユーフォニアム
【教　　授】 外囿 祥一郎
【講　　師】 岩黒 綾乃

打楽器
【教　　授】 神谷 百子
【客員教授】 菅原 淳
【特任教授】 宮崎 泰二郎
【兼任教授】 久保 昌一
【講　　師】 柴原 誠　西久保 友広
堀尾 尚男　村瀬 秀美

指揮
【講　　師】 近藤 久敦

管弦楽または合奏
【講　　師】 井上 亮　副田 真之介
（ほか助手）

先人の技法を学び、
自分だけの音を紡ぐ。
創作するよろこびが
そこにある。

※ 学長賞本選における学生作品のオーケストラ演奏

※2003年より毎年、本学ホールで開催している学長賞受賞作品選考演奏会。最優秀作品には「東京音楽大学学長賞」（賞状と賞金）が授与されます。

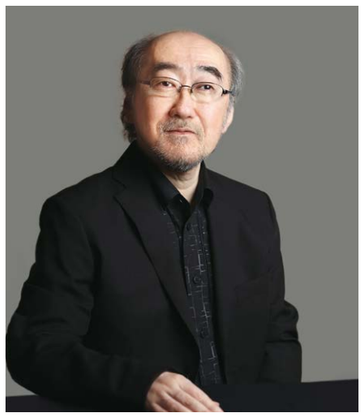
作曲指揮専攻 作曲「芸術音楽コース」

Composition / Artistic Music Course

作曲「芸術音楽コース」では、古典から現代に至る作曲技法を学びながら、
さまざまな編成の楽曲を創作することで創作力および対応能力の養成を図ります。
劇音楽やゲーム音楽など商業音楽分野の作編曲に興味のある学生は、
芸術音楽をベースにしながらマルチメディアに対応したレッスンを受けることも可能です。
また、自作品の演奏機会が数多く設けられているのも、本コースの魅力のひとつです。

- 1年ごとに指導を受ける教員を自由に選べます。
- 「作曲理論」は、1年次と2年次でオーケストレーション、3年次はコンピューターを使用した音楽と吹奏楽作編曲を学び、4年次は、さらなる個性の伸長を目的に、総合的な作曲能力を高めます。

Message



©YOKO SHIMAZAKI

教授 野平 一郎 Ichiro Nodaira

古きを知り新しきを探求する。

音楽は今でこそ「過去のものを演奏したり、研究したり」することが主のように思われていますが、本当は創作の分野が活発にならなければ音楽芸術全体が滅びてしまうでしょう。ぜひ作曲に挑戦して、自分の世界を発表してみませんか。
古きを知り新しきを探求する～過去の作品を学び、また近年の創作を研究することで、音楽がどうやって発展してきたかが理解できると次第にあなた自身の作曲、あなた自身の「音」による創作が可能となります。それは誰のものとも違う、あなたの考え方によるあなたの音楽です。作品をつくることは自己との戦いですが、作品ができたときの喜びはなにものにも代えがたいものです。
あなたの前には無限大の世界が広がっています。ぜひあなた自身の手で、次に来る世界を作ってみませんか。

卒業生からのメッセージ

自分の専門分野はもちろん、さまざまなことを学べた４年間。
いろんな音楽を書きたいと思っていたので、芸術音楽だけでなく、商業音楽にも強い東京音楽大学は僕にピッタリだと思いました。学生主体で自由に演奏会を開けるところもいいと思った点でした。4年間をとおして、自分の専門分野に限らず、ほかの分野のことにもしっかりと目を向けるようにしました。芸術分野に限った話ではなく、社会的なことやいわゆるサブカルチャーといった領域にも及んでいて、僕の創作活動において大きなヒントになっています。作曲科の必修授業で「作曲理論」という授業があります。毎年内容も先生も替わって作曲の基礎を叩き込まれるのですが、ディスカッションなどをとおして作曲技法・様式にとどまらず、思想や言語感覚、論理といったことまで徹底的に鍛えられました。

麻生 海督 2020年大学卒業（成田高等学校卒業）

主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目	作曲実技	作曲実技	作曲実技	作曲実技
		作曲理論	作曲理論	作曲理論	作曲理論
		対位法	対位法		卒業作品
			指揮法		
	専門基礎科目	ピアノ（副科）	ピアノ（副科）		
		ソルフェージュ	ソルフェージュ		
		西洋音楽史概論			
	英語	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション		

カリキュラムの詳細は
ホームページをご覧ください。

【選択科目】 専攻科目：コンピューター・サウンドテクニック

担当教員

糀場 富美子

西村 朗

野平 一郎

藤原 豊

細川 俊夫

【教　　授】 糀場 富美子　西村 朗　野平 一郎　藤原 豊
【客員教授】 細川 俊夫
【准 教 授】 中橋 愛生　原田 敬子
【専任講師】 土屋 雄
【講　　師】 赤石 直哉　伊左治 直　磯部 英彬　植田 彰
近江 典彦　神山 奈々　喜久 邦博　柴山 拓郎
竹澤 透　照屋 正樹　久田 典子　久行 敏彦
茂木 宏大　森垣 桂一　山下 美香

時代に対応したさまざまな音楽ジャンル、メディアに。
音楽業界で即戦力となれる人材に。

作曲指揮専攻

作曲「ミュージック・メディアコース」

Composition / Music Media Course

音楽業界で即戦力となるために、商業音楽分野で必要とされる作編曲法を基礎から学び、プリプロダクション、スタジオレコーディング、セルフ・プロデュースによるCD制作などを実践しながら、多様化したメディアに対応し、自分の音楽を積極的に世界へ発信できるアイデアと頭脳を併せもつ、時代に対応したセルフ・プロデュース能力のある人材の育成を目指します。

- 1年次は、週に複数回の課題提出により、「毎日作曲をする習慣」を養います。
- 2年次は、指定された構成、編曲、曲尺、用途、目的などの条件を満たす楽曲制作能力を養います。
- 2年次以降で、キーボード、ギター、ベース、ドラムスやソングライティングなどを深く追求するための選択科目を受講できます。
- 3年次は、ビッグバンド、ストリングスなど、ポップスにふさわしいオーケストレーション能力を修得し、代表的な編成での作編曲法を学びます。
- 4年次は、スタジオ録音、編集作業を実践的に学びます。
- 卒業制作としてセルフ・プロデュースによる自作曲のCDを制作します。
- 「コンピューターアシステッドコンポジション」の授業で、1年次より4年間、音楽制作だけにとどまらない、時代の最先端のスキルを修得します。

Message

教授　難波 弘之　Hiroyuki Namba

生まれ変わった本コースで学び、世界へ羽ばたく人材に。

これまで、作曲「映画・放送音楽コース」「ポピュラー・インストゥルメンツコース」「ソングライティングコース」は、ユニークで優秀な作編曲家、パフォーマーを数多く輩出してきましたが、2021年度より新たに作曲「ミュージック・メディアコース」として生まれ変わりました。西洋音楽はもちろん、民族音楽や現代音楽、ジャズ、ロック、ポップスなど、ジャンルの垣根を越えて深く追究し、自分の音楽を確立して音楽の空に羽ばたいていってください。

Message

客員教授　佐藤 直紀　Naoki Sato

作曲「映画・放送音楽コース」第1期生

あなたたちの創る音楽がエンターテインメントの世界を変える。そのお手伝いとして、作編曲法、プログラミングテクニック、アコースティック楽器とシンセサイザーの融合とその可能性、映像における音の役割や技術、商業音楽を職業とするために必要な知識など、今、あなたたちが知りたいと思っていること、知っておくべきことを本コースの講義でできる限りお伝えしたいと考えています。あなたたちのもっている新しい感性と才能はエンターテインメント業界の希望です。混群に紛れることなく、誰よりも高く飛翔し、誰よりも広大なフィールドを旋回する姿を期待して、本気で応援していきます。

作曲家、佐藤直紀先生が客員教授に就任。

映画・TV・ドラマなど、日本の音楽業界の第一線で活躍を続ける作曲家、佐藤直紀先生がミュージック・メディアコースの客員教授に就任しています。

主な作品

- 第29回 日本アカデミー賞最優秀音楽賞受賞（2006年）
- 第31・38・40・44回 日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞（2008年、2015年、2017年、2021年）

【映　画】「海猿」「ALWAYS 三丁目の夕日」「るろうに剣心」「永遠の0」「STAND BY ME ドラえもん」「マスカレード・ホテル」「ドラゴンボール超スーパーヒーロー」ほか多数
【ドラマ】「GOOD LUCK!!」「WATER BOYS」「コード・ブルー～ドクターヘリ緊急救命～」「教場」NHK大河ドラマ「龍馬伝」「青天を衝け」ほか多数
【アニメ】「ふたりはプリキュア」「交響詩篇エウレカセブン」ほか多数
【その他】「横浜 F・マリノス 25 周年記念アンセム」日テレ×佐藤直紀×読響「新時代へ」東京オリンピック・パラリンピック表彰式楽曲「TOKYO2020 Victory Ceremony」ほか多数

主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
必修科目	専攻科目	作曲実技		作曲実技		作曲実技		作曲実技	
		和声実習							卒業制作
		シンセサイザー							
		コンピューターアシステッドコンポジション		コンピューターアシステッドコンポジション		コンピューターアシステッドコンポジション		コンピューターアシステッドコンポジション	
		4リズムヘッドアレンジ		映像と音楽・分析と解釈		映像と音楽・分析と解釈			
		ピアノコードワーク		オーケストレーション		オーケストレーション		スタジオ・セッション	
	専門基礎科目	ピアノ（副科）							
		ソルフェージュ		ソルフェージュ					
		西洋音楽史概論							
	英語	英語コミュニケーション		英語コミュニケーション					

【選択必修科目】　専攻科目：コンピューター・サウンドテクニック、インストゥルメンツ・ベーシック、インストゥルメンツ・アドバンス

カリキュラムの詳細はホームページをご覧ください。

担当教員

難波 弘之

糀場 富美子

藤原 豊

堀井 勝美

伊藤 節子

小六 禮次郎

佐藤 直紀

山下 康介

鳴瀬 喜博

野呂 一生

市原 康

宮城 純子

Shusui

大和田 俊之

千住 明

谷村 新司

石川 洋光

【教　　授】難波 弘之　糀場 富美子　藤原 豊　堀井 勝美
【客 員 教 授】伊藤 節子　小六 禮次郎　佐藤 直紀　山下 康介
鳴瀬 喜博（エレクトリックベース）
市原 康（ドラムス）
Shusui（ソングライティング）

【特 任 教 授】大和田 俊之
【特別招聘教授】千住 明
谷村 新司
【准　教　授】石川 洋光
後藤 加寿子

【専 任 講 師】後藤 慶一　土屋 真仁
林 秀幸
【特 任 講 師】今井 義頼　山田 裕之
【講　　師】梅野 絵里　近江 典彦
小野 昭彦　久田 典子
本田 綾香

作曲指揮専攻 指揮 Conducting

指揮者として、多くの人々とともにより多彩、より深遠、より豊潤な感動を実現するために、
高度な専門知識と技能をもち、深い教養に裏づけられた人格を磨きます。
技能の巧みさや音響的感動だけを追い求めるのではなく、それぞれの作品が人の心に
何をもたらすべく書かれたかを理解し、それを実現するための表現力の獲得を目指します。

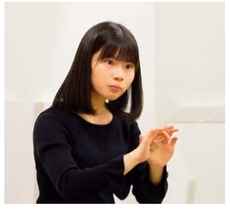
- 週1回の個人レッスン。
- 合同レッスンでは、学生有志オーケストラの協力を得て実践的な指揮の体験を積みます。
- 指揮活動の基礎として、複数の楽器のレッスンを受けることができます。
- 12月と1月には「オーケストラ実習」(実技試験を含む)を実施します。

卒業生からのメッセージ

「人間力」こそが社会で最も重要で大切なこと。

石﨑 真弥奈
2011年大学院 修士課程修了
2009年大学卒業
(国立音楽大学附属高等学校卒業)

指揮者は、人とどう接するかが一種の哲学だと感じています。学生時代、音楽の勉強ももちろんですが、「人間力」こそが社会で最も重要で大切なことであると教えていただきました。「逃げたくなるような状況でも、人への愛情をもち続ける」という教えが、現在の私をつくっています。学生時代は「自分がどんな音楽家、指揮者でありたいか」を考え続けることが重要で、それが具体的になっていれば、本学の指揮科は多くの先生が導いてくださるので、夢への行動が加速します。東京音楽大学は自分の可能性に思いきり挑戦し、同時に多くの失敗も経験させてくれる環境。同級生と先輩・後輩という切磋琢磨する音楽仲間が多くいる、人に恵まれた大学です。



恵まれた環境で多角的に学べる濃密な4年間。

広田 華奈子
2022年大学卒業
(千葉県立千葉高等学校卒業)

東京音楽大学の指揮科はとても恵まれた環境で、そこでは人それぞれ濃密な4年間を過ごすことになります。毎週の個人レッスンではどの先生も親身になってご指導くださり、合同レッスンではプロの先生もたくさんいらっしゃる豪華なオーケストラを振ることができます。大学生活のなかで、何十人ものオーケストラ奏者を前にした時の責任感、また周囲の人々を大切に思う心が芽生えました。同級生や先輩・後輩、他科の学生と切磋琢磨しながら、ピアノを用いたレッスンや音楽理論の個人指導などもとおして多角的に学ぶことが可能です。新型コロナウイルスによる危機的状況下でも、今できる最高の勉強の機会を提供してくださっている先生方には感謝の念に堪えません。

Message

教授 広上 淳一 Junichi Hirokami

指揮者はもちろん、社会に貢献できる人材を育てる。

指揮科ではさまざまな人を広く受け入れる、という理念を掲げています。東京音楽大学は実に刺激的なところです。入学したらぜひ、どんなことにも果敢に挑戦していってください。時には挫折を味わうこともあるかもしれません。しかし、どんなにマイナスに思えることでも経験して、「絶対ということがない」ことを学んでほしい。それを自分の音楽への糧とし、困難に立ち向かう姿勢があればきっと道は拓けると思います。ともに真剣に考えることをとおして明晰な頭脳と人間としてのキャパシティを手に入れてください。そして、ここで学んだことを通じて指揮者はもちろん、社会に貢献できる魅力のある人材に育ってほしいと思っています。

主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目	指揮実技	指揮実技	指揮実技	指揮実技
		オーケストラ実習	オーケストラ実習	オーケストラ実習	オーケストラ実習
					卒業演奏
	専門基礎科目	ピアノ(副科)	ピアノ(副科)	ピアノ(副科)	ピアノ(副科)
		音楽理論・スコアリーディング	音楽理論・スコアリーディング	音楽理論・スコアリーディング	音楽理論・スコアリーディング
		ソルフェージュ	ソルフェージュ		
		楽器奏法	楽器奏法		
		西洋音楽史概論			
	英語	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション		

カリキュラムの詳細は
ホームページをご覧ください。

担当教員

田代 俊文

広上 淳一

増井 信貴

ボリス ペルキン

【教　　授】 田代 俊文
広上 淳一
【客 員 教 授】 増井 信貴
【特別招聘教授】 ボリス ペルキン
【特 任 講 師】 川瀬 賢太郎　坂元 勇仁
【特別招聘講師】 高島 勲　藤井 宏一郎

【講　師】 石坂 宏
井上 勢津
加納 明洋
三河 正典
三原 明人
米津 俊広
【助　教】 奥田 恵悟
河上 隆介
杉原 直基
堀 大輔
茂木 大輔

【特別アドヴァイザー】
会田 莉凡　新 眞二　石井 啓一郎　石川 祐支
池松 宏　今川 裕代　岩佐 和弘(音楽教育講師)
奥田 雅代　小野 富士(管弦楽講師)　鎌田 泉
上村 文乃　川本 嘉子　後藤 悠仁　後藤 良平
小林 有沙　小林 美樹　田村 博文　野田 清隆
服部 亜矢子　藤田 崇文　森下 幸路　吉野 直子
米元 響子　渡邊 穣
【アドヴァイザー研究員】
朴 賢娥　福田 ひろみ
【助　　手】 中西 亮　西口 彰浩
【研 究 員】 浅野 将己　五島 友朗　松村 詩史

「音楽文化教育の最前線Ⅰ」の授業風景

音楽文化教育専攻

Studies of Music Culture and Education

2020年4月、音楽教育専攻が「音楽文化教育専攻」として生まれ変わりました。
「文化」という観点から、旧来の西洋芸術音楽だけでなく、さまざまな音や音楽のおりなす世界をとらえ、それらを社会のなかに根づかせ、生かしていく方法を考えます。体験的な学修の場もいろいろ用意し、そこで養われた現代的な知識や感性を生かし、人々の社会や暮らしへとつなげていくことで、学校教育はもとより、さまざまな社会教育的な局面にたずさわる「現場」で活躍できる人材の育成を目指します。

- 1年次は音楽文化の基礎として必修科目を学びます。
- 2年次以降は「音楽文化資源・メディア」「コミュニティ音楽文化教育」「グローバル音楽文化教育」の3領域から、興味に応じて授業を自由に選択します。
- 4年間とおして自分の希望する実技科目を受講することが可能です。

Message

教授　村田 千尋　Chihiro Murata

広く世界に目を向けると、音楽から新しいなにかが見えてくる。

音楽は「音」で勝負するわけですから、実際に演奏をしない限り他人には伝わりません。でも、演奏技術を高めることだけが音楽の勉強ではありません。人や社会との関わりなしに音楽は存在し得ないのです。社会の中で音楽がどのように位置づけられ、どのように扱われているか、日常的な地域の生活とどう関わっているのか、広く世界に目を向けると音楽からなにが見えてくるのか、こういったことについて学び、考えることが音楽文化教育専攻の目標です。さまざまな視点から、視野を広くもって、自分自身の音楽観を一緒に作り上げていきましょう。

在校生からのメッセージ

自分が本当にしたいことはなにか。

付属高校時代は器楽科でしたが、大学ではさまざまなジャンルの音楽を学びたいとの思いが強く、周りの反対を押し切って音楽文化教育専攻への入学試験を受け、苦労しながらも合格できました。専攻の授業では西洋音楽にとらわれず、さまざまな音楽をメディア・グローバル・コミュニティの3領域と結びつけながら学ぶことができ、自分では考えもしなかったような切り口から音楽について考えています。また、異なる楽器を専攻している仲間が多いので、アンサンブルや知識の共有が身近でできるのも強みです。ここで出会えた先生・仲間・授業は皆すてきで、自分のやりたいことにつながっていると実感できます。皆さんも本当に学びたいのはなにか、今いる場所は正解なのか。たくさん悩んで、夢に向かってがんばってほしいと願っています。

河野 真弥　大学3年（東京音楽大学付属高等学校卒業）

主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
必修科目	専攻科目	音楽文化教育入門		音楽文化教育の最前線				音楽文化教育ゼミナール	
		メディアリテラシー実習							卒業課題［論文・実習報告書・制作・研究表現］
		合唱		合唱					
	専門基礎科目	ソルフェージュ		ソルフェージュ					
		和声		和声					
		西洋音楽史概論							
	英語	英語コミュニケーション		英語コミュニケーション					
選択必修科目	音楽文化資源・メディア			音楽文化資源論／音楽メディア史研究／音楽文化資源・メディア特講					
	コミュニティ音楽文化教育			コミュニティ音楽文化論／コミュニティミュージック・セラピー／コミュニティ音楽文化教育プロジェクト					
	グローバル音楽文化教育			グローバル教育学入門／グローバル音楽文化史／グローバル音楽文化教育プラクティカム					
	ゼミナール					音楽文化資源・メディア論ゼミナール			
						コミュニティ音楽文化教育ゼミナール			
						グローバル音楽文化教育ゼミナール			

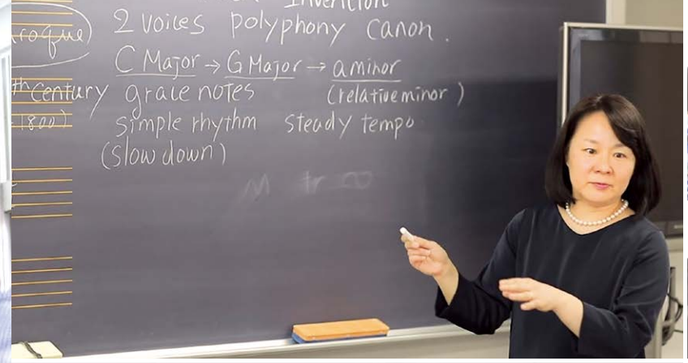
【選択科目】　専攻科目：個人レッスン（声楽、ピアノ、弦楽器、管楽器、打楽器、古楽器）、インターンシップ実習、ミュージックパフォーマンス（ジャズ、アウトリーチ音楽活動、リトミックなどのグループレッスン）ほか

カリキュラムの詳細はホームページをご覧ください。

担当教員

【教　　授】 村田 千尋（音楽文化論・音楽社会史）
リック オヴァトン（ジャズ）
【客員教授】 渡辺 裕（聴覚文化論・音楽社会史）
【准 教 授】 下道 郁子（音楽教育）　福田 裕美（音楽文化政策）
小高 明子（ピアノ）　立原 ちえ子（声楽）
中野 真理（フルート）　広瀬 宣行（ピアノ）
【客員准教授】 新藤 緑（音楽科教育）
【兼任准教授】 横山 俊朗（ヴァイオリン）
【専任講師】 土屋 真仁（キーボード）
【講　　師】 赤羽 美希（音楽教育）　井上 勢津（音楽療法）
近藤 隆史（情報教育・コンピュータミュージック）
澤口 遊雲子（リトミック）　柴田 康太郎（映像音響史）
周東 美材（音楽社会学）　中村 千鶴（音楽教育）
野中 正（ピアノ）　ピニロス マツダ デレク ケンジ（国際教育学）
（ほか 講師・助手）

音楽と教養
—2つの柱と実践的な英語力。



ミュージック・リベラルアーツ専攻

Music Liberal-Arts

「新しい学び」の形

2017年にスタートした日本の音楽大学初の「ミュージック・リベラルアーツ専攻」は、昨年度に第2期生が卒業し、それぞれの進路を見つけて羽ばたいていきました。第一線で活躍する教授陣による音楽実技教育と、さまざまな学問領域においてトップレベルの教授陣による教養科目の「２つの柱」がほかにはない本専攻の特色となっています。ここで学び、実践的な英語力をシステマティックに身につけながら、音楽家はもちろん、世界で活躍できる人材を育成します。

- 第一線で活躍する教授陣による音楽実技教育が受けられます。
- 2年次から幅広く用意されたトップレベルの教授陣によるリベラルアーツ科目を学べます。
- リベラルアーツ科目の授業はすべて英語で行われるため、英語力が格段に身につきます。
- 多種多様な学生と学ぶ「異文化体験」によって、メンタリティ、発想力を磨きます。

Message

教授　岡田 敦子　Atsuko Okada

音楽大学の新しい学びの形。

ミュージック・リベラルアーツ専攻は、未来に向けた音楽大学の新しい学びの形です。本学ならではの高度な実技教育はそのままに、教養科目と外国語科目を刷新しました。声楽、器楽、作曲、指揮とさまざまな専門の学生が集まり、留学生も迎えたクラスは、もうそれだけで刺激に満ちた空間です。
音楽一筋という「音大」のイメージを越え、語学もインテリジェンスもという人のために。それは音楽家としての活動を支えるだけでなく、あらゆる分野で活躍できる可能性を広げます。

卒業生からのメッセージ

それぞれの個性を伸ばしてくれる、自由に音楽ができる場なのです。

私はアメリカに住んでいたので、英語を話す環境があったこと、同時にピアノに打ち込みたいので、英語と音楽を勉強することができるMLAは私に最適でした。MLAは少人数なので、皆仲がよく、向上心をもっているので、互いにいい刺激となります。音楽という枠にとどまらず、視野が広がりますし、個性ある仲間との出会いもおもしろいです。音大に入って、各自それぞれのやり方があっていいと思うし、人に合わせる必要なんてありません。
東京音楽大学はそれぞれの個性を伸ばしてくれる、自由に音楽ができる場なのです。自分のやりたいことがなんなのかを常に模索し、全力で向かっていってほしいです。

宮下 まゆき　2022年大学卒業（浜松学芸高等学校卒業）

主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
必修科目/選択必修科目など	MUSIC	個人レッスン（声楽・ピアノ・弦楽器・管楽器・打楽器・作曲・指揮・古楽器・邦楽器より選択）							
		ソルフェージュ							卒業演奏・制作
		和声		［ソルフェージュ・和声・和声分析など（選択科目）］					
	ENGLISH/LIBERAL ARTS	チュートリアル・イングリッシュ		リベラルアーツ科目（英語で授業） 人文科学系 … ヨーロッパの社会・文化、ヨーロッパ史、音楽史、ジャズヒストリー など 社会科学系 … 国際関係論、日本の文化と社会、異文化交流 など 自然科学系 … 音楽心理学、音楽療法、プログラミング など				
		アカデミック ライティング							
		アカデミック プレゼンテーション							
		ディベートとディスカッション							
				ビジネス ライティング				卒業論文ゼミ・卒業論文	
				アカデミック リーディング					
	専攻科目			イントロダクション トゥ ミュージックヒストリー/ミュージック スタディーズ/MLA資格英語/キャリア演習など					
		英語学概論／日本語		英語で学ぶフランス語／ドイツ語					
	選択科目	他の専攻で開講している音楽科目（実技・講座・アンサンブルなど）／交流大学単位互換科目							

【そのほかの選択科目】　**専攻科目**：指導者養成管弦楽・吹奏楽、邦楽実習、ガムラン実習 など
共通科目：音楽基礎科目、教養科目・外国語 など

＊英語力が特別に優れている学生はリベラルアーツ科目の一部を１年次から履修可能
＊上智大学単位互換科目は２セメスター目より履修が可能

カリキュラムの詳細は
ホームページをご覧ください。

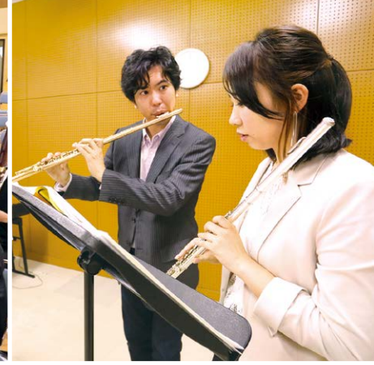
担当教員

【教　授】大竹 紀子※、岡田 敦子※、リック オヴァトン、渡辺 国彦※
※アカデミック・アドヴァイザー

【客員教授】旭 耕一郎、柴崎 かがり、竹内 佐和子、中野 明彦

【特 任 教 授】高岡 明、保倉 裕、間瀬 泰宏
【特別招聘教授】藤崎 一郎

【准教授】早坂 牧子
【講　師】川瀬 絢子、キム ロッケル、コリーン クリスティナ シュムコー、パトリック ハイン



吹奏楽アカデミー専攻

Wind Music Academy

正しい吹奏楽の知識をもった指導者を育成し、その資質を武器にメディアや音楽関連企業、一般企業など業種を問わず社会で活躍できる人材を世の中に送り出すことを目指します。よい指導者である前によい演奏家、よい音楽家となるために、個人レッスンや合奏の授業をとおして確かな技術と豊かな音楽性を獲得します。学生一人ひとりに合わせた個性を引き出す授業科目を多く用意し、学生が希望する進路に合わせた学修内容を選べる、専攻独自のカリキュラムを構成しています。

- 「バンドディレクション」では、さまざまな指導法に触れ、方法論や計画性、コミュニケーション能力を身につけます。
- ワークショップでは吹奏楽にまつわるさまざまな職業の実地に立ち会うなど、実体験をします。
- 吹奏楽で用いられるすべての楽器に関する知識を身につけ、指導法や作編曲に結びつけます。
- 段階的に設定された理論系の授業で学ぶことで、吹奏楽の作編曲の能力を修得します。
- マーチングやポップス、作曲など専門性の高い分野に関する知識と能力をより深化させる授業科目も充実しています。

Message

教授　小串 俊寿　Toshihisa Ogushi

夢は見るだけでなく、つかみ取ろう。

「バンドディレクション」では全国で活躍されている教育現場の先生方をお招きして、吹奏楽指導法や運営法、ゼロからのバンドの立ち上げ方など、将来現場に立った時に実践できる生きた講座を展開します。また、「吹奏楽合奏」では、吹奏楽アカデミー専攻講師陣が常に合奏に一緒に入って演奏しながらアドヴァイスをし、合奏指揮と「指揮法」は下野竜也特任教授を中心に、小林恵子講師、横山奏講師の3人が指導します。このほかにもすべてが実践的で魅力あるカリキュラムになっています。この世界、時には壁にぶち当たりますが、その壁を乗り越えた時、楽しさは何倍にもなる。さあ、一緒に夢に向かっていきませんか？

在校生からのメッセージ

吹奏楽が好き。熱い気持ちを生かす専攻。

将来、吹奏楽指導者を目指す僕にとって「吹奏楽アカデミー」は夢のような専攻です。作編曲から指揮法、マーチングまでと、現代の吹奏楽指導において必要とされる知識が確実に身につくのは、ここならではの強みです。とてもアットホームな雰囲気で、著名な講師の先生方に、さまざまな視点からのアドヴァイスをいただくことができます。先生方を交えての合奏や演奏会などは、特に学びの多い機会です。今までは、ただただ好きで続けてきた吹奏楽ですが、学びが深まっていくうちに、変化が必要な部分も見えてきます。楽しむだけで終わらせず「吹奏楽界にいい風を吹かせ、さらに発展させていきたい」という目標が新たにできました。大好きな吹奏楽に触れながら、夢を追う毎日にワクワクが止まりません。皆さんも、ここで一緒に夢を叶えませんか？

伊藤 玲央　吹奏楽アカデミー専攻 フルート3年（静岡県浜松聖星高等学校卒業）

主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
必修科目	専攻科目	専門楽器実技		専門楽器実技		専門楽器実技		専門楽器実技	
		バンドディレクション		バンドディレクション		バンドディレクション		バンドディレクション	
				指揮法				卒業演奏/卒業制作	
	専門基礎科目	ピアノ（副科）							
		ソルフェージュ		ソルフェージュ					
		和声		和声					
		西洋音楽史概論							
		楽器別指導法		吹奏楽史		作曲法		吹奏楽作編曲概論	
	英語	英語コミュニケーション		英語コミュニケーション					

【選択必修科目】 **専攻科目**：吹奏楽合奏、吹奏楽作編曲演習、スコアリーディング、指揮法演習
専門基礎科目：メディアリテラシー、吹奏楽ポップス概論、吹奏楽ポップス演習、吹奏楽ジャーナリズム概論、マーチング概論、マーチング演習

【選 択 科 目】 ワークショップ、管打アンサンブル

カリキュラムの詳細は、ホームページをご覧ください。

担当教員

小串 俊寿

久保 昌一

下野 竜也

天野 正道

井芹 康貴

星出 尚志

中橋 愛生

【教　　授】 小串 俊寿（サクソフォーン）
【兼任教授】 久保 昌一（打楽器）
【特任教授】 下野 竜也（指揮）
【客員教授】 天野 正道（作曲）　井芹 康貴（マーチング）　星出 尚志（作曲/ポップス）
【准 教 授】 中橋 愛生（作曲/理論）
【専任講師】 木村 圭太（テューバ）

【講　　師】 山内 豊瑞（フルート）　堀口 憲一（オーボエ）　近藤 薫（クラリネット）
原 浩介（クラリネット）　中川 日出鷹（ファゴット）　夢沼 雅紀（サクソフォーン）
石川 善男（ホルン）　荻原 明（トランペット）　渡邉 善行（トロンボーン）
川野 聡子（ユーフォニアム）　平子 ひさえ（打楽器）　坂本 雄希（打楽器）
藤井 将矢（コントラバス）　小林 恵子（指揮）　横山 奏（指揮）
海老沢 慶人（マーチング）　松下 倫士（スコアリーディング）　近藤 隆史（情報・コンピュータミュージック）

TCMの教育

教育方針

アドミッションポリシー
入学者受入れの方針

カリキュラムポリシー
教育課程編成・実施の方針

ディプロマポリシー
卒業認定・学位授与の方針

アドミッション・ポリシー

大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式を捉える力、楽典の知識が一定のレベルに達していることが重要です。音楽の学習には外国語も必要です。専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

カリキュラム・ポリシー

個人レッスンを核とする専攻科目を中心に、専門基礎科目・専門共通科目で音楽的能力の基礎を固めるとともにその幅を拡げ、さらに基礎教育科目で国際人としての広い教養を身に付けることにより、音楽を土台として現代社会の様々な局面に対応しうる人材を育成することを目標とします。

ディプロマ・ポリシー

アカデミズムと実学の精神を両立させることによって、個の確立、協調性、社会性、国際性を獲得し、広く社会に貢献することのできる人材を世に送り出します。

専門性の高い実技指導

世界レベルのマスタークラス。世界で活躍する演奏家や指導者からの直接指導。

本学のキャンパスで世界のトップレベルの演奏家や教授のレッスンを受けることができ、このような機会をステップにして留学する学生や、コンクールで優秀な成績を収める学生も数多く、将来の夢を叶える一助になっています。

自分の悩みから無自覚なところまで、隅々にわたってピンポイントで突かれた。

マスタークラスは公開形式なので、演奏会とレッスンが混ざった独特の緊張感があります。その中でヴィルサラーゼ先生には、自分の悩みや葛藤をほぐしていただき、鋭くピンポイントにアドヴァイスをいただきました。間近で見る先生の指先から体全体のオーラには心底圧倒されます。東京音楽大学のマスタークラスには、多方面から個性豊かな先生方がいらっしゃいます。毎年定期的にお越しくださる先生も多く、昨年に比べてこうなっている、と自分を覚えてくださってアドヴァイスをいただけました。継続して同じ先生にレッスンしていただけることで自分の成長の度合いを意識することができます。一流の先生方のレッスンは、今の自分に必要なすべてを教えていただける本当に貴重な時間です。

安並 貴史　2021年大学院 博士後期課程修了（静岡県立清水南高等学校卒業）

専攻、ジャンルを越えて学べる実技

専門以外の実技を学び、芸術性の幅を広げる。

邦楽

日本の伝統音楽（邦楽）もじっくり学べます。

希望すれば初心者から経験者まで、長唄三味線・生田流箏・琴古流尺八・薩摩琵琶のいずれかの楽器を個々の技量と個性に合わせた個人レッスンで学ぶことができます。西洋音楽と異なる演奏技術と感性を必要とする邦楽器の修得をとおして、西洋音楽の枠に囚われない音楽観が広がります。

ガムラン

ガムランも受講できます。

インドネシアの伝統芸能であるガムランの演奏・舞踊を本格的に学ぶことができる講座が開講されています。ガムランアンサンブルをとおして、異文化への理解や、音のコミュニケーションの取り方も学ぶことができます。

ジャズ・アドリブ奏法

ジャズ・アドリブ奏法も身につけられます。

クラシック音楽を修得しながら、ジャズやポップスの演奏もできるようになりたいと望む学生も多く、本格的なジャズセッションやビッグバンドをとおして、アンサンブル力や即興演奏力が身につくばかりでなく、クラシック音楽に対する考え方にも変化が生まれます。

教職課程

人間性豊かな音楽教員を目指す。

教職課程において、法律に定められた所定の単位を修得することで教育職員免許状を取得することができます。本学では、教育職員免許状を取得した後に大事になる「人間性や社会性」を培う場としての教育を行っています。今後も講座内容を充実させるとともに、きめ細かな指導をとおして、実際の教育現場で活躍できる音楽教師を育成していきます。
履修にあたっては、次のような教員となるべく明確な目標意識をもつよう指導しています。

【育成する教員像】
- 教師として使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任をもつ。
- 教師として確かな力量を備え、常に学習する意欲をもつ。
- 教師として豊かな人間性や社会性、人格的資質をもつ。

取得できる免許状

- 中学校教諭一種免許状（音楽）
- 高等学校教諭一種免許状（音楽）
- 小学校教諭二種免許状（明星大学通信教育部との教育業務提携による免許状取得）

教職に関する科目・講座

実際に教える現場を意識したカリキュラムが組まれています。模擬授業を行う「音楽科教育法」「教職実践演習」の科目や、教員採用試験に必要な面接対策や小論文の書き方、話す力を身につけるための「教職特別演習」講座など、教員採用試験対策に直結しています。

【必修科目】
教職論　教育原理　教育心理　教育経営論／教育行政学
教育課程概論　教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む）
音楽科教育法　道徳教育指導論
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法　生徒・進路指導論
教育相談概論　教職実践演習（中・高）　教育実習

【選択科目】
教職課程管弦楽　教職課程吹奏楽

幅広い見識を身につける教養科目

音楽大学の教養教育は、音楽と結びつけた教養教育を目指しています。知識を一方通行で教えられるのではなく、経験豊かな複数の教員と学生、学生と学生の間で交わされる討論、アクティヴラーニングをとおして、自ら答えを導き出す考える力が養われて、作品の読み取りから、時代背景や文学の修得に至るまで、異なる角度や解釈を経験することで、皆さんの音楽性が必ずや深められていくことでしょう。

専門基礎科目

音楽学関連科目

音楽理解の基盤である「西洋音楽史概論」を中心に、多面的な音楽研究への道を拓きます。音楽学の知識をより深めたいという学生のための「音楽学課程」では、少人数のゼミナール形式によるきめの細かい指導が行われます。

- 西洋音楽史概論
- 楽譜学
- 日本音楽史概論
- 世界音楽演習
- 歌曲史
- 音楽分析学
- 日本音楽史特講
- 音楽文献研究
- オペラ史
- 音楽学特講
- 音楽美学
- 論文作成
- ピアノ音楽史
- 世界音楽概論
- 西洋音楽史演習
- 管弦楽曲史
- 世界音楽特講
- 日本音楽史演習

ソルフェージュ科目

1・2年次の「ソルフェージュ」では、グレード別のクラス編成でさまざまな時代の記譜法・音楽様式・作曲家の特徴を学びながら読譜能力を高め、3・4年次では、学修目的別選択のクラスが複数開講しています。

音楽理論関連科目

1・2年次の「和声」では、機能的な和声進行について学修し、3・4年次では、選択科目としてより高度な和声学を学びます。また「和声分析」や「対位法概論」の授業も開講しています。

専門共通科目

- 合奏
- ピアノ演習
- 作曲法
- 指揮法
- 日本伝統音楽
- 独唱及び合唱
- 合唱
- 現代音楽の解釈と奏法
- アジア音楽の理論と奏法
- マルチメディア演習
- ドイツ語歌詞研究
- ドイツ語オペラ台本研究
- イタリア語歌詞研究
- イタリア語オペラ台本研究
- 通奏低音奏法
- 古楽概論
- 古楽合奏
- ガムラン実習
- 音楽キャリア実習
- ミュージック・コミュニケーション講座
- ポピュラー音楽史概論
- スタジオエレクトロニクス
- ミュージック・ビジネス概論
- ソルフェージュ基礎
- 音楽理論基礎

基礎教育科目

【外国語科目】 英語 / ドイツ語 / フランス語 / イタリア語 / スペイン語 / ロシア語 / 中国語 / ラテン語

【教養科目】

- 心理学
- 芸術学
- 環境と経済
- 教養演習
- 宗教学
- 日本史
- 現代社会と法
- 健康・スポーツ科学理論
- 哲学
- 西洋史
- 憲法
- スポーツ科学実技
- 倫理学
- 東洋史
- 数学
- 音声学
- 応用倫理学
- 日本文化論
- 宇宙科学
- 音楽療法
- 日本・東洋文学
- 西洋文化論
- 自然科学
- 情報メディア
- 西洋文学
- 東洋文化論
- 日本語表現法
- メディア論
- キャリアデザイン論

上智大学・聖心女子大学との単位互換制度

東京音楽大学では、他大学で学び交流することを通じ、視野を広げることを目的に、2010年度より上智大学と単位互換型の学生交流制度を設けています。2年次以上の全専攻の学生を対象に、上智大学の500以上の講座から受講が可能です。また、2020年度より聖心女子大学と、2021年度より放送大学と単位互換制度を開始しました。相互に教育内容の充実を図り、交流を深め、学生に対して多様な価値観に基づく学修機会を提供することを目的とし、3大学で修得した単位は本学の単位として認定されます。

上智大学

聖心女子大学

TCMで国際性を身につける

「音楽は国境を越える」を信念に、本学は、グローバル時代に対応する人材を育成するため、さまざまな交流プログラムを用意しています。ヨーロッパの名門音楽大学と提携を結び、毎年交換留学*や教授陣の招聘を行っています。バイエルン州立青少年オーケストラと提携し、ドイツ・イタリアで行われる合宿と演奏のツアーに年2回学生を派遣*しています。

近年は、イギリスのサセックス大学や、ハダースフィールド大学などトップレベルの総合大学にも正規留学生を送り出しています。

アジアにおける音楽文化の興隆を受け、中国、韓国、インドネシア、台湾の音楽大学と交歓演奏会やイベントなど活発な交流を行っています。

＊ 2020～21年は、新型コロナウイルス感染拡大による渡航制限のため、派遣を中止していました。

主な交換留学提携校（2022年4月1日現在）

短期留学奨学生からのメッセージ

自分の世界を広げるきっかけに。

ポーランド国立ショパン音楽大学では1カ月という短期間でしたが、とても充実したカリキュラムで、ピアノの個人レッスン以外にも、室内楽のレッスンや即興、楽曲分析などの授業、寮生活に至るまで本格的な留学生活を体験することができました。生家などのショパンゆかりの地を巡ったり、旧市街などでポーランドの歴史や文化を肌で感じる日々のなか、ショパンの曲をレッスンしていただいたのは至福の時間でした。現地の学生から多くの刺激を受け、帰国するのが寂しくなるほど素敵な出会いがたくさんありました。師事したい先生とも出会うことができ、大学卒業後はショパン音楽大学大学院へ進学し、充実した留学生活を過ごしています。

田中 英純　ピアノ演奏家コース　2020年大学卒業（北海道札幌北高等学校卒業）

オンラインでギルドホール音楽院短期留学プログラムを修了。

飛行機、宿泊先の予約が済み、いざ出発というところで新型コロナの状況が深刻化してしまったため渡航できなくなってしまい、オンラインでプログラムを受講しました。ロンドンと日本をオンラインでつなぐレッスンということで、どうなるのかが楽しみな反面、画面越しでの思いどおりに意思の疎通ができるのか、心配もありました。しかしいざ受講してみると先生方はとても熱心にご指導くださり、大変学びの多い時間となりました。先生方がおっしゃることはすべて自分にとって新鮮で、特に発声や表現について、いろいろな面から自分を見つめ直すことができました。短期留学プログラムを修了して、海外留学についても前向きに考えられるようになりました。

樫村 実佳　声楽　2021年大学卒業（茨城県立水戸第二高等学校卒業）

認定交換留学制度を利用しサセックス大学に正規留学

海外の総合大学で、多岐にわたる学びを体験。

東京音楽大学は単科大学なので、留学するならさまざまな専門分野を学べる総合大学がいいと考えていました。留学中の本学の学費免除と単位認定は、留学に踏み込む際の大きなメリットでした。音楽科目のみならずビジネス学や心理学、生理学、開発学、さらには国際交流など多岐にわたる学びができるため、新しい発見や、自分が学んでいる部分で活用できることの多さに利点を感じました。サセックス大学で学んだことを、音楽やメディアの世界で活用していきたいと思っています。

佐々木 佑紀　ミュージック・リベラルアーツ専攻　2021年大学卒業（青山学院系属 浦和ルーテル学院高等学校卒業）

経験豊かな教員による多彩なキャリア教育

アートマネジメントを学ぶ

ACTプロジェクト

学内外で行われるコンサートの企画・制作・広報を実践する「学生による音楽事務所」で、アートマネジメントの仕事を学年や専攻を越えたチームで実体験できます。
活動にあたっては、複数の教職員が協働して指導・サポートするのが特徴で、企画力、コミュニケーション能力、リーダーシップやプレゼンテーションのスキルが養われます。

教育・地域・福祉の場で音楽を生かす方法を学ぶ

神戸女学院大学音楽学部との連携講座 ～ミュージック・コミュニケーション講座

神戸女学院大学音楽学部と共通科目を設け、インターネット配信による同時中継授業を通じて、教育・地域・福祉の場で音楽を生かす方法を学びます。連携講座では、音楽がもっている楽しさや、人と人とを結びつける根源的な力に目を向け、多様なニーズに応える音楽プログラムを企画・実践していくことのできる人材の養成を目指しています。

社会に出た時に、
周りよりも一歩リードしていると実感。

私自身、大学時代にふたつの講座を受講し、そこで身につけた企画力や運営のノウハウが今の仕事にたくさん生かされていると感じています。楽譜と向き合って優秀な成績を収めることも大事なことですが、学校から外に出て、演奏会を実施するに至るまでになにが必要かといった裏方の立場を体験することは、アートマネジメントもできる演奏家になるための大切な学びです。メールの出し方から、挨拶の仕方、名刺の作り方、フライヤーの作り方まで、各チームに配置される教職員のアドヴァイザーが丁寧にすべてを教えてくれます。こういった活動をとおして、社会に出た時に、周りよりも一歩リードしていると実感できると思います。

坂本 夏樹 ACTプロジェクト／ミュージック・コミュニケーション講座助手

大学時代の学びが、
仕事をする上で今も役立っています。

ACTプロジェクトでの活動が大学生活での一番の思い出です。2年次にフィリアホールで自分の企画した演奏会を行った際に統括としてチームを率いることになったのですが、運営をするために試行錯誤を重ねて多くのことを学びました。大勢の人と協力してひとつの舞台を創り上げることに大きなやりがいを感じるとともに、多面的な視点から楽器配置や音響についても学ぶことができました。ACTプロジェクトで培った相手がなにを求めているのかを考えて先回りする姿勢は、仕事をする上で大変役立っています。

川島 香音 大手IT企業に就職
ミュージック・リベラルアーツ専攻　2021年卒業
（日本女子大学附属高等学校卒業）

教育現場で役立つ有意義な授業

教職課程管弦楽・吹奏楽（教職課程履修者）

毎年多くの学生が履修する、本学独自の科目です。最大の特徴は「自分の専攻以外の楽器」を体験できること。苦労しながら楽器の修得をすることで、はじめての楽器を前にして上手に演奏できない子どもの気持ちを理解し、さらにはアンサンブルのよろこびとともに指導方法を学べます。合奏では各パートの教員が学生の中に入って一緒に演奏するため、「本物の音」を知る経験ができ、団体行動における指導方法まで実践から学びます。実際に教壇に立った時、また、部活動で教える際にも生きてくる有意義な授業です。

卒業生からのメッセージ

得られるものがとても多い教職課程吹奏楽の授業。

私は学生の時に教職課程吹奏楽の授業を履修し、ホルンを担当しました。日々の授業の中で楽器や合奏の指導法を学べたことは、今の仕事にも生かされています。指揮の先生だけでなく、各楽器に先生がいらっしゃり、指導を受けることができるという恵まれた環境でした。この授業は学生の中から役員を選び運営を行っており、私は吹奏楽でインスペクターとして運営に携わりました。特に夏の合宿、秋の演奏会の準備を他専攻の学生と協力し、熱を込めて取り組んだことはとてもいい経験になりましたし、共に過ごせたことも魅力でした。私自身、指導の傍ら現在も社会人のアマチュアバンドでホルンを続けています。2年間、専攻以外の楽器に取り組むというのは決して楽なことではありませんが、その分得られるものも多く、とてもいい経験になる授業だと思います。

千葉県県立高等学校教諭　山本 孝　作曲「芸術音楽コース」 2018年大学卒業（土浦日本大学高等学校卒業）

キャリア形成につながる専攻科目

ワークショップ

学内外で行われるさまざまな吹奏楽のイベントに裏方として参加したり、学校の吹奏楽部で指導体験もします。生の現場に触れることで、実践的な力が養われます。

吹奏楽アカデミー専攻にて開講。

キャリア演習

就職に必要な予備知識から時事ニュースまで幅広く解読したり、自らエンタテイメント作品を企画し、プレゼンテーションを行うことで社会人としての見識が身につき、進路選択時の視野が広がります。

ミュージック・リベラルアーツ専攻にて開講。

インターンシップ実習

音楽ホールなどの文化施設での実習をとおして、実社会で求められる力や音楽の活用法を学ぶことで、卒業後の進路選択の幅が広がります。

音楽文化教育専攻にて開講。

スタジオセッション

バンド形態を基本としたアンサンブルにおける各楽器の音色やバランス、コンビネーションとそれによって生まれるグルーヴをスタジオレコーディングしながら学びます。自分の趣向を越えたジャンルの楽曲にトライすることで、音楽的な視野が広がります。

作曲「ミュージック・メディアコース」にて開講。

専攻の枠を越えたアクティヴラーニング

指揮合同レッスン

指揮専攻生のレッスンに器楽の学生有志がオーケストラを編成して参加。指揮教員をはじめプロのオーケストラ奏者など日本を代表するプレイヤーが特別アドヴァイザーとして多角的な視点から指導を行います。参加する全員が、他者の考えを知り、自らを多面的に見つめ、深く思考することで音楽観が磨かれます。
全員参加型の本学ならではのアクティヴラーニングです。

音楽で他者と共感する

切磋琢磨し合う仲間や、専攻の垣根を越えたアンサンブルとの出会いが、
皆さんにとっての音楽探求を通じた人間形成の場となり、
将来の目標を自ら見つけるきっかけとなります。

他者の音と響き合った時の感動が私の心を震わせた。

アンサンブル。それは音楽を通じて、共演者と交わし合うコミュニケーションの一種です。アイデンティティの主張が少々激しい私にとって、人とうまく調和することは難しくも興味深いもの。先輩ピアニストとの即興演奏や、舞台基礎演技法の授業でプロの先生方と紡いだ重唱。作曲科の友人が書き下ろした新曲を歌ったり、寮生活の卒業記念に行った演奏会では、卒寮生による即席オーケストラをバックにオペラ「カルメン」のアリアを披露しました。私だけがもち得ている音が、ほかの誰かの音と響き合った時、心が震えるような感動を味わうのです。東京音楽大学で経験したこれら一つひとつが、私の音楽観も、私という人間も大きく成長させてくれました。

大附 仁美　声楽演奏家コース　2020年大学卒業
（埼玉県立大宮光陵高等学校卒業）

呼吸を合わせて同じ空気を共有するすばらしさを感じて伴奏の道に。

東京音楽大学は、互いに助け合い、切磋琢磨しながら成長できる、同世代の音楽を志す仲間とたくさん出会える場所です。自分の専攻はもちろん、ほかの楽器や声楽の方と一緒に演奏する機会が多かったことが、私の音楽に対する考え方を大きく変えてくれました。アンサンブルをとおして呼吸を合わせ、同じ空気を共有できるということに、ソロとはまた違った楽しさ、音楽のすばらしさを感じることができたため、大学院から伴奏の道に進みました。室内楽や伴奏法、ピアノデュオ講座などアンサンブルの授業も充実しているので、先生方からの専門的なアドヴァイスを受けながら、たくさんの仲間と素敵な音楽体験をしてください！

榎本 詩帆　2020年大学院 修士課程 鍵盤楽器研究領域（伴奏）修了
ピアノ演奏家コース　2018年大学卒業（千葉県立富里高等学校卒業）

他専攻生による生の演奏で一緒にレコーディングを経験。

作曲を学ぶ専攻・コースの授業では作曲はもちろん、レコーディングの経験とともに演奏者を自分で集めたり、コミュニケーションをとったりするなど作曲家として大切なことをたくさん学ぶことができます。オーケストラパートは打ち込みで、合唱パートは声楽専攻生たちに歌ってもらい、「英雄」という曲を制作し、コースの垣根を越えて一緒に音楽を作り上げていきました。
生の演奏が入ることによって、作曲家が思っている表現以上のものが生まれることを体験することができ、演奏者の方々もレコーディングに大変興味をもって参加してくれたので、お互いにとって学びの多い経験になりました。

河野 宥槻　作曲「映画・放送音楽コース」（2021年度より作曲「ミュージック・メディアコース」に統合）
2021年大学卒業（大分県立芸術緑丘高等学校卒業）

音楽で広く社会に貢献する

東京音楽大学は、音楽をとおして、社会・地域の活性化、文化力向上に貢献することを建学の精神と理念のひとつに掲げており、毎年、多くの学生が多様なプロジェクトに積極的に参加しています。在学中に地域社会のさまざまな場で演奏を届けるこうした経験が、音楽のもつ社会的役割をより深く理解することにつながり、やがて音楽で広く社会に貢献したいと願う意欲の高まりとともに、自身の音楽性にも大きな変化が現れます。

私の原点。聴く人が楽しんでくれる音楽を心がける。

小学校での読み聞かせコンサート、老人ホームでのクリスマスコンサート、卒寮公演など、観客の層に合わせて楽しんでもらえるための構成や歌い方を考えるようになってから、演奏が楽しくなっていきました。聴く人が楽しんでくれる音楽を心がけるようになったのは、大学の地域連携活動の一環として出演した「豊島消防署主催防火演奏会」が原点となっています。大きな演奏会ではありませんでしたが、聴いてくれた方々が大変よろこんでくださり、感謝状もいただきました。
うまくいかずに迷ったりする時は、部屋の壁に飾っているその感謝状を眺めていると、「役に立っているんだ」という実感がわき、また前向きになれるんです。

髙橋 茉椰　2022年大学院 修士課程 オペラ研究領域修了
声楽演奏家コース　2020年大学卒業（札幌市立旭丘高等学校卒業）

子どもたちに届ける

東京音楽大学は、東京都事業「こどもスマイルムーブメント」に参画しています

みないけコンサート（豊島区）

その他多数ホームページをご覧ください

病院や福祉施設、医療従事者に届ける

東京共済病院コンサート（目黒区）

心にさくらプロジェクト（目黒区）

地域社会に届ける

庁舎ランチタイムコンサート with東京音楽大学（豊島区）

東京音楽大学×目黒区連携講座（目黒区）

豊島消防署主催防火演奏会（豊島区）

東京音楽大学は、あなたの努力を応援します。

奨学金

東京音楽大学奨学金（返済義務なし）

本学では各種奨学金制度を用意しています。
2022年度は、特別特待奨学生6名、給費奨学生30名にそれぞれ支給されました。

1. 特別特待奨学生
   全学費または理事会の決定による額を免除
2. 給費奨学金
   年額100万円～30万円
3. 入学奨学金
   入学金に相当する額を奨学金として給付
4. 家計急変者奨学金
   授業料の全額もしくは一部を給付
5. 短期留学奨学金
   航空運賃・宿泊費・学費の補助
6. 大規模自然災害罹災学生授業料減免
   被災状況により、授業料の全額または一部免除
7. 同一生計の複数就学者授業料減免
   授業料の20%を減免

詳しくはホームページをご覧ください。

その他の奨学金など

青山音楽財団、瀬木博尚記念芸術文化振興会、戸田育英財団、福島育英会、明治安田クオリティオブライフ文化財団、山田貞夫音楽財団、よんでん文化振興財団などの民間財団が事業主体の奨学金があります。
また、人物・成績が優れ、経済的理由により就学が困難な学生に対しては、日本学生支援機構、地方公共団体・民間育英事業団体（貸与）などの奨学事業を紹介しています。詳細は学生支援課までお問い合わせください。

認定留学制度

- 留学中は本学および留学先教育機関への学費の二重の負担が発生しない制度を設けています。
- 1年間（2セメスター）までの留学期間中に海外で修得した単位は、審査の上、本学の単位として認定され、4年間での卒業が可能です。
- 留学に際して、安心できる留学先の選定、出願をはじめ、各種手続きなど、大学がきめ細かくサポートをします。

早期卒業制度

東京音楽大学は入学後3年間で卒業できる早期卒業制度を導入しています。器楽専攻の学生を対象として学部に3年以上在籍し、専攻実技が極めて優秀であり、本学が定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められた場合、3年間の在籍で卒業ができます。

学費

	入学金（※1）	授業料（※2）	施設拡充費	施設維持費（※3）	合　計
春学期	300,000	743,500	390,000	135,000	1,568,500
秋学期	—	743,500	—	—	743,500

単位：円

※1　付属高等学校からの1年次進学者150,000円
※2　作曲指揮専攻「ミュージック・メディアコース」の授業料は、春・秋学期ともに 788,500円
※3　2年次より 145,000円
※　学費以外に後援会費（毎年）、入学金（入学時）が必要です。

就職サポート

音楽大学で学ぶ学生は、レッスンやアンサンブルなどをとおして「独創性」「協調性」「主体性」が身についています。これらは企業が採用に際して強く学生に求める資質であり、本学の卒業生を採用した企業からも高く評価されています。また「就職対策講座」では、企業研究、面接対策など、就職に役立つ実践的な指導を行っています。

就職支援プログラム

進路決定をする上でニーズの多い情報やアドヴァイスが、必要な場面で提供できるようにプログラムを準備しています。各種プログラムは主に3・4年生を対象としていますが、1・2年生で関心のある学生も参加できます。

就職ガイダンス

就職活動をはじめるにあたり、どのような流れで選考が行われるのか、そのためにはどんな準備が必要なのかを説明します。また、それらの対策に適したキャリア支援センターの活用方法や各種セミナーも紹介します。

インターンシップガイダンス

就職活動が早期化する傾向にあり、早いうちからインターンシップに関心がある学生も多くいます。インターンシップに参加する目的や心構え、注意点について説明します。インターンシップをはじめたい方であれば参加学年は問いません。

業界研究セミナー

企業の人事担当者に登壇いただき、業界の特徴や、その企業を例とした業務内容、職種、選考についてお話を伺います。本学卒業生の採用実績がある企業を中心に、音楽関係にとどまらず幅広い業界の企業と接点をもつことができます。

先輩の就活を聞く会

就職活動を終えたばかりの先輩たちから、直接就職活動について話を聞くことができる機会です。実際にどのような面接だったか、選考で苦労したことや内定先を志望した理由などを聞くことができます。

個別面談

進路は人それぞれであり、就職活動中はその時期によって悩みの内容も変わってきます。キャリアカウンセリングの資格をもったスタッフが対応し、どのように行動していけばよいか一緒に考えます。

各種グループワーク・講座

「学生時代に力を入れたこと」「自己PR」の作成講座、「グループディスカッション体験」など、少人数で意見を交換しながら進めていきます。他者に説明したり、言語化していく中で、無自覚だったことを意識化することができます。

音楽活動・音楽業界志望者向け講座

フリーランスとして演奏家を希望する方向けの「確定申告講座」や、音楽にかかわる民間企業を志望する方向けの「音楽関連企業講座」を開催しています。

就職者からのメッセージ

音楽を学ぶ中で身につけた、追求力と忍耐力。

読売新聞の記者として、宇都宮支局で主に事件、事故、スポーツを担当しています。東京音楽大学で過ごした４年間は毎日が刺激的でした。著名な先生方のレッスンでは、音楽を追究する楽しさと難しさを感じながら日々の練習で鍛えた忍耐力や一音一音に対する集中力、そして追求心が養えたと思います。また、大学３・４年次に履修した合唱はピアノを専攻していた私にとって、大人数でひとつの音に集中し音楽を創るはじめての経験で、プロオケと共演する本番での感動は忘れられないものになりました。大学４年間、音楽を学ぶ中で身につけた、少しの失敗ではへこたれず、前進し続ける追求力や忍耐力は私の強みになっています。

読売新聞東京本社 記者　**三枝 未来**　ピアノ演奏家コース　2019年大学卒業（神奈川県立鎌倉高等学校卒業）

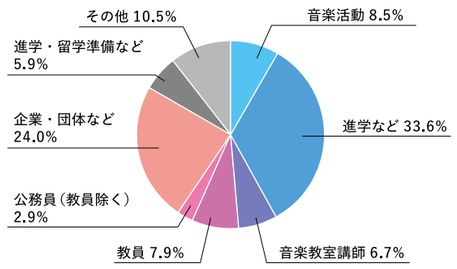
説明会に積極的に参加して、夢や目標につなげよう。

私はいろんなことに目が向きすぎてしまったせいで、得意な音楽ジャンルをもてなく悩んだ時期もありました。「ならば、なんでもつくれる人になろう」と腹をくくり、いろんなジャンルのバンドをやったり、学生映画の劇伴を担当したりしました。その中で、音楽だけではない畑で自分の能力を生かせることを知り、やがてゲーム会社を目指すように。ゲーム会社に行きたいと決意してから、とにかく来校型の説明会に積極的に参加するようにしました。見落としがちなのですが、学内でゲーム会社の説明会が結構たくさん開催されていますよね。私も参加した学内説明会がきっかけのひとつとなって、バンダイナムコスタジオにデモを送りました。
音楽に携われるすばらしい仕事は世の中にたくさんあるので、どんどん自分から調べてみてください！

株式会社バンダイナムコスタジオ
サウンドデザイナー　**大澤 めい**　作曲「映画・放送音楽コース」（2021年度より作曲「ミュージック・メディアコース」に統合）
2020年大学卒業（東京学芸大学附属国際中等教育学校卒業）

卒業生の進路（2022年3月 学部卒業生）

全体



進学

東京音楽大学大学院（61人）
東京藝術大学大学院
桐朋学園大学大学院
洗足学園音楽大学大学院
早稲田大学大学院
お茶の水女子大学大学院

音楽教室講師

島村楽器株式会社
ヤマハ音楽教室
カワイ音楽教室　ほか

公務員

陸上自衛隊音楽隊
航空自衛隊音楽隊
埼玉県警察音楽隊
柏市役所

公益法人

日本年金機構

企業・団体など

【金融】
山梨中央銀行
北陸銀行
住友生命保険相互会社
明治安田生命保険相互会社
メットライフ生命保険株式会社
極東証券株式会社

【商社・小売】
アイア株式会社
ルイ・ヴィトンジャパン株式会社
株式会社ケイ・ウノ
株式会社ノジマ
千疋屋総本店
株式会社リードビジョン

【建設・不動産】
戸田建設株式会社
株式会社グッドコムアセット

【製造】
東洋紡株式会社
株式会社ポーラ
コモタ株式会社
Apple Japan 合同会社

【IT・情報通信・ゲーム関連】
株式会社フォーク
株式会社ＮＩＳ
株式会社リンクレア
株式会社第一コンピュータサービス
アイエスエフネットグループ

【サービス】
BVLGARI Hotel&Resorts, Dubai
株式会社ヤマハミュージックリテイリング

【放送・広告】
株式会社ＳＰＧホールマン
株式会社アーティット
株式会社スポット
ディップ株式会社
株式会社ネクシィーズグループ
エイベックス・エンタテインメント株式会社

【福祉・介護】
ハッピーライフケア株式会社
ロングライフホールディング株式会社
株式会社ＣＬＯＶＥＲ
株式会社アズパートナーズ

ほか

演奏団体（卒業生の主な進路実績）

札幌交響楽団
仙台フィルハーモニー管弦楽団
山形交響楽団
群馬交響楽団
NHK交響楽団
新日本フィルハーモニー交響楽団
東京交響楽団
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
東京都交響楽団
東京ニューシティ管弦楽団
東京フィルハーモニー交響楽団
日本フィルハーモニー交響楽団
読売日本交響楽団
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
オーケストラ・アンサンブル金沢
セントラル愛知交響楽団
名古屋フィルハーモニー交響楽団
大阪交響楽団
大阪フィルハーモニー交響楽団
関西フィルハーモニー管弦楽団
日本センチュリー交響楽団
兵庫芸術文化センター管弦楽団
広島交響楽団
九州交響楽団
千葉交響楽団
東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
静岡交響楽団
中部フィルハーモニー交響楽団
東京佼成ウインドオーケストラ
東京吹奏楽団
自衛隊音楽隊
警察音楽隊
東京消防庁音楽隊
劇団四季
シカゴ交響楽団
クリーヴランド管弦楽団
ウィーン・トーンキュンストラー管弦楽団
南西ドイツ放送交響楽団
ノールショピング交響楽団
ブルノ国立フィルハーモニー管弦楽団
ドルトムント・フィルハーモニー管弦楽団
マインツ・フィルハーモニー管弦楽団
ハイデルベルク・フィルハーモニー交響楽団
ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団
リスボン・メトロポリタン管弦楽団
シンガポール交響楽団
台湾国家交響楽団
マリインスキー歌劇場管弦楽団
ベルギー王立歌劇場管弦楽団
レーゲンスブルク歌劇場管弦楽団

ほか

教員　2022年 教員新規採用者数

	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	他　県	合計
国公立	17（7）名	7名	2名	2名	11（1）名	39（8）名
私立	3名			1名	2名	6名

非常勤等含む　（　）内は既卒者・内数

卒業生の約2名に1名が教育職員免許状を取得

教員

未来を創る児童の教育に関わる、やりがいのある仕事。

教職課程では、音楽教育に関する専門的な知識、教職プラスでは、音楽の楽しさと吹奏楽についての知識を深めることができました。先生方は親身になって相談にのってくださるすばらしい先生ばかりで、先生方がいてくれたおかげで安心して勉強に励めました。私もまた児童にとって信頼できる教員になりたくて、音楽嫌いにならないよう児童の気持ちに沿った言葉がけを日々心がけています。教員は、未来を創る児童の教育に関わる仕事であり、指導したことに反応しようと一生懸命取り組む児童の姿を見ていると、教員としてのやりがいや存在意義を感じます。音大での経験は、社会に出ても自分を支えてくれる武器になります。地道な実技の練習によって培われた集中力や忍耐力、厳しいレッスンで鍛えられた精神力は、教員にかかわらずどんな仕事でも役に立つと思います。

浦安市立入船小学校教諭　**西田 梨央**　ピアノ　2021年大学卒業

専攻と同じくらいのめり込んで、楽しく勉強できた教職課程。

私が教員という進路を意識しはじめた時は、「子どもの変容を感じられる仕事って楽しそう」というあこがれの気持ちだけでした。しかし、授業で先生方の経験、模擬授業の実践、事例をもとに考える生徒との関わり、先輩方の教員採用試験に向けた取り組みなどの話を聞くうちに、教員になることへの覚悟や経験不足を痛感して、いつの間にか専攻と同じくらいのめり込んで勉強するようになりました。きっと誰よりも楽しんでいたと思います。教職特別演習では、同じ目標をもつ学生と教職課程の先生方という、実際のクラスのような環境で学んだことがとても印象に残っています。温かく私たちを鼓舞してくださった先生、先輩方が受験して得た感覚から作成された専門教養の資料、本番の空気を味わえる面接練習など、心構えから実践の場まで環境を整えてくださった先生方に深く感謝しています。

東京都立総合芸術高等学校教諭　**今川 雪菜**　ピアノ　2020年大学卒業

演奏団体

社会に出ていくためのヒントを見つけよう。

ヴァイオリンを演奏していくうちにオーケストラに憧れをもち、早くからオケを中心に演奏活動することを目標にしていました。合奏系の授業では、指揮者からだけでなく、第一線で活躍しているすばらしい先生方から実践的なアドヴァイスを得ることができる貴重な機会でした。また、室内楽のレッスンで仲間とひとつの曲を深掘りしていく過程は、卒業後の演奏活動の土台となり、重要な時間だったと思います。現在は、東京都交響楽団で第一ヴァイオリン奏者として都内を中心に演奏活動を行っています。大学での4年間は、いろいろなものを吸収でき、自身の可能性を広げることができると同時に、社会に出ていくヒントがたくさん転がっています。そのヒントを見つけるために先生方をはじめ、たくさんの仲間とコミュニケーションをとることも大切な学びのひとつだと考えています。

東京都交響楽団　**伊東 翔太**　ヴァイオリン　2019年大学卒業

志の高い仲間とすばらしい先生方と。

在学4年間、吹奏楽やオーケストラなど、合奏系の授業は一番力を入れて取り組みました。特にAプラス（「吹奏楽」授業の3・4年次）では、指導者実習という時間に普段することができない指揮にもチャレンジすることができ、音楽をつくる上での視野が一気に広がる貴重な機会になりました。東京音楽大学の魅力はすばらしい先生方がたくさんいらっしゃることと、志の高い仲間が多いことだと思います。目から鱗のアドヴァイスや、モチベーションが高まる刺激を先生方からはもちろん、先輩・同輩・後輩からもたくさんもらうことができます。今は陸上自衛隊の音楽隊員として活動させていただいています。私のスタンスとして、いい音楽をすることで、「音楽」と聴いてくれる人に恩(音)を返していくことが一番しあわせなことだと考えています。

陸上自衛隊 中央音楽隊　**牧 優吾**　テューバ　2021年大学卒業

声楽の道へ先生方の手厚いサポートを受けた4年間。

私は3年生になったら全日本学生音楽コンクール大学部門にチャレンジするという目標を立てていました。そのためには1・2年生のうちに多くの単位をとる計画を立て、1限授業のために必死になって朝早く起きました。2年生からは楽しみにしていた「舞台基礎演技法」の授業で、複数の声楽の先生方、指揮者やコレペティトールの先生、演出家の指導を毎週受けることができ、ますます歌に魅力を感じるようになりました。卒業後、憧れの新国立劇場オペラ研修所第24期生として新しいスタートラインに立ちました。これもご指導くださる先生方、真摯に音楽に向き合う友人や先輩・後輩方、それから、やる気が湧いてくる大学のカリキュラムのおかげだと思っています。

新国立劇場オペラ研修所 第24期生　**大髙 レナ**　声楽演奏家コース　2021年大学卒業

大学院音楽研究科 Graduate School

修士課程／博士後期課程

広い視野に立ち、音楽に関する精深な学術と技能を修得し、文化の進展に寄与する。

東京音楽大学は、1993年4月に、大学院音楽研究科修士課程を設置し、その目的を「広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与すること」と定め、以来、広く音楽界で活躍できる演奏家や作曲家、教育者や研究者の養成に専心し、着々とその成果を上げてきています。
2002年および2013年に入学定員を増員するとともに、社会人および外国人留学生の特別選抜制度を導入するなど、社会的要請も踏まえて優秀な学生を輩出しています。
さらに、グローバル化と知識基盤社会が進展する21世紀において、高度な専門能力とその基礎となる豊かな学識をもつ音楽家、音楽研究者の果たす役割は極めて大きく、これらの人材の育成を目的とする「博士後期課程」を2014年4月に新設し、魅力的な研究環境のもとで研究教育を進めています。

大学院音楽研究科の特徴

音楽の各分野における専門的技能・知識と研究能力を身につけると共に、国際性・多様性を兼ね備え、社会・文化に貢献できる人材輩出を目指し、経験豊かな教員によるきめ細やかな指導体制と実践的なカリキュラムを用意しています。

大学院に関しての授業内容、指導教員の詳細はホームページをご覧ください。
大学院入学案内も別途ありますので併せてご参照ください。

修士課程

芸術の「伝統と創造」

社会の急速な変化の中で、音楽芸術の研究はその普遍性を追求するとともに、時代への即応も求められます。本学大学院では、芸術の「伝統と創造」を教育研究テーマとして実技中心の柔軟性あるカリキュラムと新分野の研究領域を開設し、高い能力と豊かな人間性を有する人材の育成に努め、ディプロマ・ポリシーに掲げる以下の能力が身につくカリキュラムを展開します。

1）高度な専門的知識・技能と研究能力を身につけ、自立的で質の高い音楽活動を展開できること。
2）旺盛な国際感覚をもち、多様な音楽的価値観を尊重できること。
3）現代社会における音楽芸術のあり方について考察し、音楽による社会貢献ができること。

学位 **修士（音楽）**	■ 入学定員 ■ 資格	70名 中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状（音楽）を有する者が、所定の単位を取得して本大学院修士課程を修了した場合は、中学校教諭専修免許状（音楽）、および高等学校教諭専修免許状（音楽）を取得できます。
器楽専攻	■ 鍵盤楽器研究領域 ■ 管打楽器研究領域 ■ 弦楽器研究領域 ■ 室内楽研究領域	
声楽専攻	■ 独唱研究領域 ■ オペラ研究領域	
作曲指揮専攻	■ 作曲研究領域 ■ 指揮研究領域	
音楽文化研究専攻	■ 音楽教育研究領域 ■ ソルフェージュ研究領域 ■ 音楽学研究領域 ■ 多文化音楽研究領域	

※ 多文化音楽研究領域　「多文化音楽研究領域」は、多様な文化や民族性を背景として発達してきた音楽を探求し、日本を含む世界各地の伝統音楽の継承と発展に貢献する研究領域です。伝統音楽の理論ならびに実践をバランスよく学び、新しい音楽文化の創造を目指します。

器楽専攻

大学院では、知識と技術の習得にとどまらず、専門分野における研究課題を自ら定め、積極的に探究・努力し、客観性と説得力のある答えを導き出すことが求められます。専攻楽器の個人レッスン「器楽実習」のほか、「器楽特殊研究」「楽曲分析演習」の授業をとおして、専攻レパートリーのアナリーゼ、作曲家の人物像はもちろん、作品の時代背景、他の芸術分野などにも目を向け、より深い表現を目指します。加えて、室内楽、オーケストラ、吹奏楽の各実習をとおして、さまざまな楽器の特性を意識し、より広い音楽的視野を備えたアンサンブル力も身につけることができます。
修了時には1時間程度のプログラムを構成し、プログラム・ノート（プログラム構成の意図や楽曲解説）を添えて、自ら舞台で演奏表現します。

声楽専攻

声楽専攻は〈独唱研究領域〉と〈オペラ研究領域〉に分かれ、各々の特性を意識した実践力を総合的に修得します。

〈独唱研究領域〉では、個人レッスンのほか、各国の歌曲を専門とする教員による授業をとおして、個々の音楽性や声にあった歌曲や宗教曲などを探求し、修士演奏では自らプログラムを構成し、研鑽の成果を発表します。

〈オペラ研究領域〉では、指揮者、演出家、声楽家、コレペティトゥアから構成される万全の指導体制で、オペラを学ぶ最適な環境が用意されています。2年次の「オペラ総合実習」にて、各自演目を選択し、一部抜粋したプログラムを構成し、上演します。

また双方の領域学生が履修可能なオペラ特殊研究（通称：大学院オペラ）では、ヨーロッパや日本のオペラ作品を研究、演習を行い、実際に舞台で試演会を行います。

修士課程

作曲指揮専攻

〈作曲研究領域〉従来の現代音楽中心の「芸術研究」と、各種メディアに対応した実践的な「応用研究」に分かれ、自らの創作の基盤、起点となるべき課題に基づき、自主的な研究活動、発表を行うことで総合的な作曲能力の向上を目指します。

〈指揮研究領域〉高度で機能的な指揮の技法や幅広い音楽知識と共に、総合的な人間力を養います。高い見識と教養を身につけ、多様な人々と豊かな関係を築ける人間性をそなえた指揮者となることを目指します。

音楽文化研究専攻

教育、音楽、多文化等各々の研究領域からの視点を切り口に、各自が研究課題を定め、研究成果として論文や課題を仕上げます。その過程での問題提起の仕方、解決のための調査・方法論や文献探索等の情報収集と考察、必要に応じて語学力の修得、演奏や創作の実践を学びます。

〈音楽教育研究領域〉教員養成の枠組みにとらわれず多様な音楽活動の場を想定して、音楽と社会と人間との関わりに目を向け研究を行います。

〈音楽学研究領域〉音楽について学問的に調べ、言葉によって論ずる…その過程で身につく調査・考察・文章化・プレゼンテーション能力は、修了後、多様な分野での活躍を可能にします。

〈ソルフェージュ研究領域〉楽曲の総合的理解・把握・解釈を可能にする高度な読譜力を修得すると共に、オンラインを含む教育研究などPCを活用した音楽教材研究等にも取り組みます。

〈多文化音楽研究領域〉世界各地の伝統的な音楽文化を現代社会における文化の多様性の視点から探究し、新たな音楽文化を創造し、発信していくことを目指します。

特徴的な指導方式　各分野の第一線で活躍する教員の指導の下、専門的な知識に裏付けられた演奏実践能力と探究・研究能力の双方を身につけられるカリキュラムを用意しています。

卒業生からのメッセージ

大学院での専門性を極めた経験は、キャリアを築く上で必ず生かされる。

大学院と学部の大きな違いは、専門性の高さにあると考えています。本学の大学院修士課程では、専攻実技科目のレッスンのほかに、室内楽や伴奏法などの実技科目の授業をとることができます。これらの授業は、少人数でレッスンに近い形式で行われており、また、自らが希望する先生の授業を受講することができるため、自身が掘り下げて追求したいと思う分野をより深く学ぶことができました。
音楽と税務は一見かけ離れたものであるようにも見えますが、どちらもプロフェッショナルの領域です。大学院のレッスンや授業をとおして音楽家としての専門性を極めた経験は、就職してひとりの税理士としてのキャリアを築く上で、必ず生かされるものではないかと感じています。これからも、長い人生をとおして、一音楽家として成長を続けていきたいと思います。

デロイト トーマツ税理士法人（クライアントサービス職）
佐久間 由光　2022年大学院 修士課程 鍵盤楽器研究領域修了
ピアノ演奏家コース　2020年大学卒業（都立総合芸術高等学校卒業）

博士後期課程

「音楽の各分野における高度な専門性」「総合的な知見」「社会的・実践的能力」

これらを兼ね備えた音楽家、研究者を育成し、音楽文化の新たな地平を積極的に拓いていける人材を社会に送り出しています。

音楽専攻
- 学位　・博士（音楽）　・博士（音楽教育学）　・博士（音楽学）
- 入学定員　3名（社会人および外国人留学生を含む）

博士後期課程・音楽専攻

実社会で活躍していくために必要な専門性、総合性、社会的・実践的能力の獲得を目指し、「専門研究科目」（選択必修）において専門性を高め、「共同研究科目」（選択必修）においてより広い知見と社会的・実践的能力を培い、「総合研究科目」（必修）においては、より広い知見を獲得するとともにそれらを総合し、博士論文や博士演奏、博士作品制作などを行うよう授業科目を配置しています。

特徴的な指導方式　「共同研究科目」では、さまざまな専門の学生と教員が協働して、コンサート企画・開催や研究論文集作成などのプロジェクトに取り組み、本学博士課程における指導・研究体制の大きな特色となっています。

卒業生からのメッセージ

実技と論文の両方を本気で研鑽できる、充実した学びの環境。

個人的な次元に重きが置かれる一般的な博士課程のイメージと違い、本学の場合は、「共同研究」と「総合演習」という集団で受けられる授業が大きな特徴です。「共同研究」では、ひとつのテーマに対して自分の研究分野からアプローチした研究成果を発表しますし、「総合演習」では、自分の研究についてさまざまな分野の先生方、学生たちの前で報告するので、異なる視点から指摘していただけます。
博士となるためには、実技のみならず、知識の面でも物事を客観的に捉える思考回路が必要なのですが、「共同研究」、「総合演習」に加えて、研究と直結する「博士リサイタル」や「学位審査演奏会」があり、さらに論文の個人指導も充実しているので、実技と論文の両方を偏りなく研鑽できます。学びの環境は整えられていますので、とにかく両方を本気でやりたい人にお勧めです。

国立大学法人 奈良国立大学機構 奈良教育大学 音楽教育講座准教授（ピアノ）
鈴木 啓資　2021年博士博士後期課程修了　2017年ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学 修士課程首席修了
ピアノ演奏家コース　2014年大学卒業（静岡県立藤枝東高等学校卒業）

東京音楽大学はチャレンジの精神を大切にします。

本学の学生はコンクールに意欲的にチャレンジし、毎年の入賞、入選者は100名を超えます。
音楽家の登竜門ともいわれる国内外のコンクールで優秀な成績を収め、現在第一線で活躍している卒業生が数多くいます。

福丸 光詩

大学院修士課程作曲研究領域2年
作曲指揮専攻作曲「芸術音楽コース」 2020年大学卒業
（作新学院高等学校卒業）

第90回日本音楽コンクール　作曲部門第1位

パンデミックの影響で留学が1年延期となり、図らずもコンクールに挑戦する時間が得られました。とはいえ、精神的には大変苦しい期間で、作曲を辞めようかと幾度となく真剣に考えました。日本人である自分が西洋音楽の文脈に参加し作曲することに、使命感ともいえる動機と覚悟をもって取り組めるかをいつも考えるべきだと自分に言い聞かせています。譜面上の見栄えに意識が傾いている楽譜は、読んでいて直感的に気づきます。今回のコンクールへの挑戦では、虚栄心との戦いから多くの貴重なことを学びました。
東京音楽大学では、一流の音楽家（＝先生方）が一堂に会する環境に加えて、普段から専攻を越えた交流もさかん。作曲を学ぶ学生の作品に対して、器楽や声楽専攻の学生たちはいつも前向きに、そして真剣に演奏してくれます。自分の作品が実際の音になることは、レッスンを受けるだけでは知り得ない多くのことが学べるので、在学中は作品を発表できるように絶えずチャレンジをしていました。今回の結果を励みに、作品を演奏してもらう機会を得るために、今後も積極的に挑戦し続けたいと思います。

嘉屋 翔太

ピアノ演奏家コース エクセレンス4年
（開成高等学校卒業）

第10回フランツ・リスト国際ピアノコンクール 最高位（1位なし2位） 併せて聴衆賞とサン＝サーンス最優秀演奏賞も受賞

リストの作品を中心に扱うコンクールですが、今回はサン＝サーンスの没後100年にあたるアニバーサリーイヤーのため、特別にサン＝サーンスのエチュードとオリジナル作品が課題に組み込まれていました。予備審査を含め5段階の審査があって、プログラムが重くてなかなか大変な勝負のコンクールだったと感じます。
音を形で読む作業と音をつくる作業は別物で、「君は音をつくる作業をちゃんとやらないといけない」と野島稔先生によく言われていました。建築物をただ建てるような無味乾燥な作業になってしまわないように、一音一音響かせることを特に意識するようにしました。
東京音楽大学で3年間学んだことで、作品に向かう時に注目するポイントが明らかに変わったと思います。譜読みの段階から質の高いものに完成させていくようになり、また、ピアノという楽器に対する愛情が格段に変わりました。今後は、質の高いレパートリーを着実に増やしていき、その上で、たとえばリストやプロコフィエフという“自分はこの曲が一番得意”というのを確立していきたいです。

東京音楽大学コンクール

学年・コースの枠を越えて、切磋琢磨し、高め合う。

本学主催の東京音楽大学コンクールは、学生の演奏意欲と表現技術の向上を目的として2002年より毎年開催されています。その大きな特徴は、学年やコースの枠を越えて審査が行われること、国際的に活躍している学外の演奏者・指導者の先生方に審査を依頼していることにあります。隔年で、「声楽部門・ピアノ部門」と「弦楽器部門・管打楽器部門」が開催されています。入賞者には賞状と賞金が授与され、今後の音楽活動に生かせるよう個別に詳細な講評も与えられます。これまでの本コンクール入賞者は、その後国内外の数多くの主要なコンクールにも入賞しています。

■ 2021年度 第20回 本選結果

【弦楽器部門】
第1位　遠井 彩花（学部2年/ヴァイオリン）
第2位　景　晨陽（学部4年/ハープ）
第3位　清沢 健生（大学院修士課程1年/コントラバス）

【管打楽器部門】
第1位　尾崎 夏子（学部3年/マリンバ）
第2位　川内 愛　（学部4年/ユーフォニアム）
第3位　田中 友貴（学部4年/フルート）

■ 2020年度 第19回 本選結果

【声楽部門】
第1位　大髙 レナ（大学4年/ソプラノ）
第2位　大附 仁美（修士1年/ソプラノ）
第3位　老川 鈴唄（大学1年/ソプラノ）

【ピアノ部門】
第1位　宮里 倫史（修士2年）
第2位　厚木 裕香（修士2年）
第3位　山崎 佑麻（大学3年）

■ 2021年度 主なコンクール等入賞者

掲載しているのは一部です。ホームページをご覧ください。
※学年は受賞時の学年、副賞はひとつのみの掲載。

コンクール名	受賞部門	受賞内容	氏名	専攻・学年/卒業年
第90回日本音楽コンクール	ピアノ部門	第2位	佐川 和冴	器楽専攻鍵盤楽器研究領域（ピアノ）大学院修士1年
第90回日本音楽コンクール	ピアノ部門	入選	藤平 実来	ピアノ演奏家コース 4年
第71回ヴィオッティ国際ピアノコンクール	ピアノ部門	第2位（最高位）	片田 愛理	ピアノ演奏家コース エクセレンス 2015年卒業
セルゲイ・クーセヴィツキー国際指揮者コンクール		第2位（最高位）オーケストラ特別賞	出口 大地	指揮 2016年卒業
ハノーファー・ヨーゼフ・ヨアヒム国際ヴァイオリンコンクール		入賞	吉田 南	アーティストディプロマコース
第14回シューベルト国際コンクール	ピアノ部門	第1位	安並 貴史	大学院博士後期課程 2021年卒業
第31回宝塚ベガ音楽コンクール	木管楽器部門	第2位	保崎 佑	ファゴット 大学院博士2年
第27回KOBE国際音楽コンクール	C部門　ピアノ部門	最優秀賞 兵庫県教育長賞	岡田 柚香	器楽専攻鍵盤楽器研究領域（ピアノ）大学院修士2年
第27回 KOBE国際音楽コンクール	C部門　打楽器部門	最優秀賞 兵庫県教育委員会賞	佐藤 美玖	打楽器 2019年大学卒業
第23回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA	大学生部門	全国大会 銀賞 アジア大会 金賞	塩崎 基央	ピアノ演奏家コース 1年
第23回ショパン国際ピアノコンクールin ASIA	大学生部門	全国大会 金賞 アジア大会 銅賞	宮本 真璃	ピアノ演奏家コース 1年
第22回大阪国際音楽コンクール	ピアノ部門　Age-U	第1位	瀬頭 薫	器楽専攻鍵盤楽器研究領域（ピアノ）1年
第19回東京音楽コンクール	弦楽部門	第1位	福田 麻子	ヴァイオリン 大学院博士2年
第19回東京音楽コンクール	木管部門	第3位（1位なし）	保崎 佑	ファゴット 大学院博士2年
第51回フランス音楽コンクール	声楽部門	第1位 稲畑賞	宮川 七海	声楽専攻独唱研究領域 大学院修士1年
第4回東京国際マリンバコンクール		第2位 ベスト・インプレッション・アワード	佐藤 雪乃	器楽専攻管打楽器研究領域（打楽器）大学院科目等履修生1年
第45回全国町田ピアノコンクール	F部門	第1位 町田市議会議長賞	飯野 愛純	ピアノ演奏家コース 3年
第3回日本奏楽コンクール	ピアノ部門 大学の部	第2位（最高位）	山崎 綾子	ピアノ 4年
第38回ソレイユ声楽コンクール	声楽部門	第1位 音楽現代新人賞	井上 知里	声楽専攻オペラ研究領域 大学院修士 2年
第22回北関東ピアノコンクール	一般Sの部	第2位（最高位）	松岡 真里奈	器楽専攻鍵盤楽器研究領域（ピアノ）大学院修士1年
第31回日本クラシック音楽コンクール	サクソフォーン部門	第3位（1位、2位なし）	菅野 樺歩	サクソフォーン 4年
ワルシャワ国際吹奏楽指揮者コンクール2021（ポーランド）		第1位 最優秀指揮者特別賞	甘粕 宏和	フルート 2000年大学卒業
第29回彩の国・埼玉ピアノコンクール	連弾部門	金賞	寺内 愛結 寺内 咲貴	ピアノ演奏家コース 1年 ピアノ 4年
第27回宮日音楽コンクール	声楽部門	グランプリ（宮崎日日新聞社賞）最優秀賞	榎本 菜々	声楽専攻独唱研究領域 大学院修士1年
第23回日本演奏家コンクール	ピアノ部門　大学生の部	第1位 グランプリ 毎日新聞社賞　神奈川県知事賞	重野 花奈	ピアノ演奏家コース 3年
第23回日本演奏家コンクール	声楽部門　大学生の部	第1位 朝日新聞社賞	老川 鈴唄	声楽特別演奏家コース 2年
第33回草加・日本国際ハープコンクール2021	プロフェッショナル部門	第3位	景 晨陽	ハープ 4年
第15回セシリア国際音楽コンクール	弦楽器部門（一般の部）	第2位（最高位）	陳 金	ヴァイオリン 大学院博士 3年
第12回東京ピアノコンクール	一般A部門	第1位 古典派賞 準グランプリ	有村 美智子	器楽専攻鍵盤楽器研究領域（ピアノ）大学院修士2年
第11回ヨーロッパ国際ピアノコンクールin Japan	大学A部門	金賞	高田 真佑	ピアノ演奏家コース 3年
利根英法記念邦楽コンクール 第8回現代曲	一般の部	金賞	有馬 美梨	音楽文化研究専攻多文化音楽研究領域（箏）大学院修士1年
第7回K木管楽器コンクール	フルート部門	第1位	山田 巳月	フルート 3年
第7回K木管楽器コンクール	オーボエ部門	第3位	亀谷 梨乃	オーボエ 3年
第6回水と緑のまち江戸川 新進音楽家コンクール	声楽部門	第1位	髙橋 茉椰	声楽専攻オペラ研究領域 大学院修士 2年
第15回全日本芸術コンクール	ヴァイオリン音大	第1位	遠井 彩花	ヴァイオリン 2年
第11回ヤング・クラリネッティストコンクール	ヤング・アーティスト部門	第3位	原田 侑来	クラリネット 2年

ほか多数

演奏家、教育者、企業人として
多くの卒業生が活躍しています。

今につなげてくれた大学での学び。

現在、世界各国でコンサート活動をしていますが、在学中に2回挑戦した国際コンクールのおかげで、今につながっています。前学長の野島稔先生をはじめ、鷲見加寿子先生には大変お世話になり、コンクールへのサポートをいただいたことに本当に感謝しています。大学の授業もとても楽しく興味深く、音楽だけでなく教養科目の授業もプロフェッショナルな先生方揃いです。
外国語の授業では、ロシア語、英語、ドイツ語を学んでいたおかげで、海外に行っても役立っていることを実感しています。欲を言えば、もっと勉強したかったかなと。
駆け足で過ぎ去った大学生活でしたが、多くの友人との出会いにも恵まれ、共に過ごした時間は貴重な財産となっています。

ピアニスト　藤田 真央
ピアノ演奏家コース・エクセレンス　2020年大学早期卒業

© EIICHI_IKEDA

©Makoto Kamiya

すてきな出会いとたくさんの挑戦を見守ってくれる環境。

東京音楽大学での4年間は、音楽だけでなく人としても成長できた4年間だったと思います。音楽活動をしていく中で学業との両立は大変でしたが、実技の先生だけでなく、大学の先輩方やたくさんの先生方との出会いが私にとってとても大切でかけがえのないものでした。壁にぶつかったことも辛いこともたくさんありましたが、大学に行くといつも温かく見守ってくださる先生方がいて、常に前を向いて乗り越えることができたなと思います。のびのびといろんなことに挑戦でき、それを温かく見守ってくださる環境が東京音楽大学にはあります。
これからも音楽家として、音楽的にはもちろんですが、この人とまた一緒に演奏したい、そう思ってもらえる人でいたいと思っています。

ヴァイオリニスト　辻 彩奈
アーティストディプロマコース　2020年大学卒業

夢を叶えるため、たくさんの目標を。

オペラ歌手になりたくて入った大学でしたが、入学時に大きな夢があったかというと正直ありませんでした。可能性が現実に見えてこないと夢を見ることすらむなしいと感じていたからです。しかし目標は具体的にたくさんもっていました。ブレスを長く、歌っても疲れない身体作りといったフィジカル面から、正確な発音や作曲家の意図を楽譜から読みとるなどのオペラを歌う上で必要な要素すべてです。とにかく授業やレッスンで得られるものは吸収し、すばらしい歌手の息づかいや所作、音楽への取り組み方を真似しながら自分のオペラ歌手像を確立してきました。大学４年間かけてようやく一筋の光を感じ、そのかすかな光をたぐり寄せながらここまでひたむきにやってきました。皆さんにもぜひ東京音楽大学というすばらしい環境で自らの「光」を見つけてほしいです。

オペラ歌手　村上 公太
声楽演奏家コース　2003年大学卒業

© 神谷 誠

未来を見据えた大学生活を。

大学の4年間は、長いようであっという間に過ぎてしまいます。この期間に自分がしたいことは何なのか、どうなりたいのか、そのために何をしたらいいのか。目標をしっかりと立て、限られた時間の中でそれを達成するために必要なことを考えて実行することが大切だと思っています。自分にやりたいこと、成しとげたい強い意思があれば東京音楽大学の先生方はそれを全力で応援してくださいます。私は日々音楽を勉強していく中で、どのようにすれば音楽のもっている性質はそのままに、自分のこだわりや聴いてくださる方が求めているものを両立した演奏ができるのかを考えていますが、それらはレッスンや、大学での試験や演奏会をしているうちに培いました。
大きく夢をもち、切磋琢磨できる仲間と、すてきな学生生活を送ってください。

フルート奏者　瀧本 実里
フルート　2019年大学院 科目等履修生修了　2017年大学卒業

人間力を鍛えるレッスンで今の指揮者としての自分がいる。

東京音楽大学での4年間がなければ、今の私はありませんでした。指揮のレッスンは、音楽のことはもちろんですが、自分のことを理解し、社会の中でどうやって生きていくか、いわば人間力を鍛えるレッスンだったように思います。オーケストラというのは、社会の縮図のようなものだと思っています。いろんな考えをもっていて当然。中には真逆な考えをもっている人もいます。自分と考えが違うからおもしろくないと思うのか、自分と考えが違うからこそもっと知りたいと思えるのかは、大きな違いです。東京音楽大学で日々レッスンに打ち込んだからこそ、考えの違う人たちのことに興味をもてる人間になりました。そうでなければ、指揮者という職業は務まらないと思いますし、だからこそ今の私があるのかもしれません。

名古屋フィルハーモニー交響楽団 正指揮者
オーケストラ・アンサンブル金沢 パーマネント・ゲストコンダクター
札幌交響楽団 正任指揮者
川瀬 賢太郎
指揮　2007年大学卒業

©Yoshinori Kurosawa

プロフェッショナルの世界の洗礼を受けた学生時代。

学生時代、私にとって一番ためになったのは、授業で毎週必ず、曲を書く課題に取り組んだことです。プロフェッショナルになると毎日何曲も作り続けなくてはなりません。
私は入学直後から曲を締切りまでにコンスタントに作り続けるという「プロフェッショナルの世界の洗礼」を受けていたわけです。在学中は学内でトップクラスの器楽専攻の学生に自分が書いた曲を演奏してもらったり、上手なシンガーを見出してデモテープを作ったりと課外活動も積極的に行っていました。
この世界でやっていく一番の条件は「情熱」です。限りあるこの4年間で、いろいろなチャンスを貪欲にたぐり寄せ、東京音楽大学で学ぶメリットを最大限に利用してほしいと思います。

作曲家　菅野 祐悟
作曲「映画・放送音楽コース」（2021年度より作曲「ミュージック・メディアコース」に統合）　2001年大学卒業

音楽から学んだことは、その後の人生でも生きる。

大学卒業後は、京都大学大学院法学研究科で法律を学び、福岡の鴻和法律事務所で弁護士として働いています。東京音楽大学では、著名な演奏家や指導者の公開レッスンなど、本物の音楽を学ぶ機会が溢れていて、とても刺激的な授業の連続でした。音楽と真摯に向き合うことは決して容易なことではないのですが、日々努力を積み重ねることにより、自然と「忍耐力」が身についたように感じます。また、常に一度しかない演奏の中でベストを尽くすことによって、「集中力」が磨かれたと思います。音楽も法律も分野は違いますが、どちらもプロフェッショナルな領域です。東京音楽大学というプロフェッショナルな環境で学んだことは大きな自信となっていますし、そこで培われた「忍耐力」と「集中力」は、弁護士としてさまざまな難しい案件に取り組む上で強みになっていると思います。

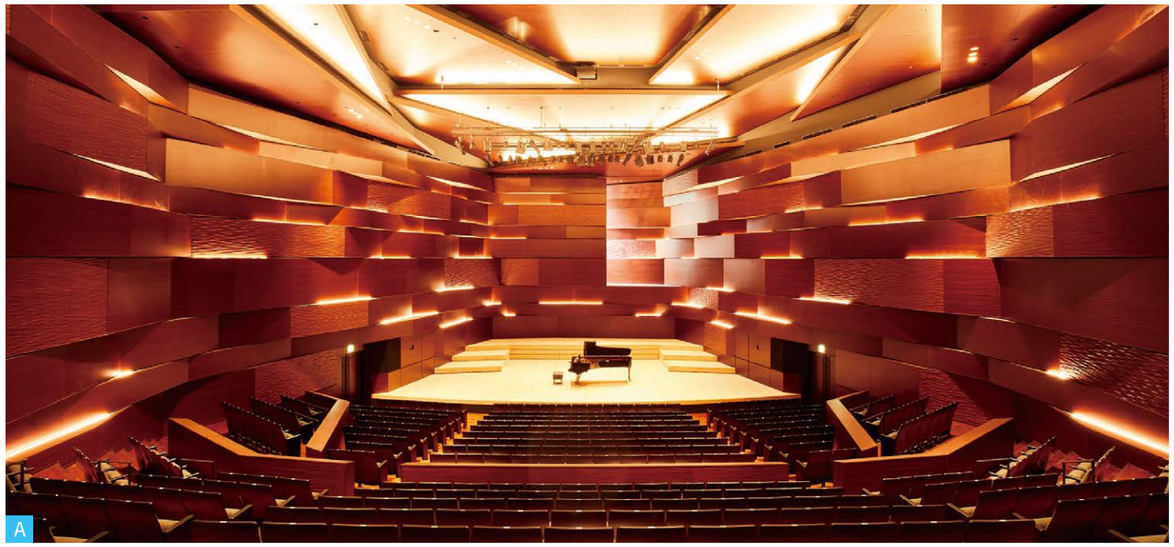
弁護士　塩崎 智子
ピアノ演奏家コース　2009年大学卒業

© 清田 聡

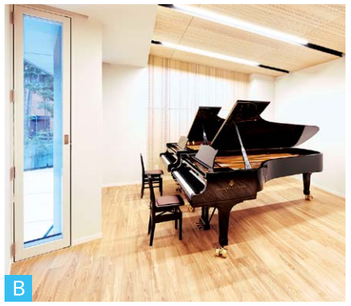
人生の長いスパンの中で大学4年間を考えてほしい。

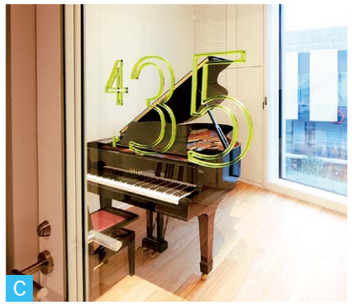
私はこの仕事をはじめた時に、「本当に音大卒なの？」と言われ、右も左もわからない状況でしたので、もっと大学でたくさんのことを学べばよかったと思いました。
東京音楽大学は、のびのびと学べる自由な校風があって、その中に自分を置いた場合、短期的な目線ではなく、将来どういう風になりたいか、どの方向に進みたいかを俯瞰して、自分の勉強するスタンスを決めてほしいなと思います。人生は長いから、長期的に自分の人生を見て、一つひとつの授業をとおして自分の適性もあわせて考えてほしい。そうすれば、この先の人生において音大での4年間がどんな役割を果たすかがおのずと見えてきて、非常に有意義な4年間を過ごすことができると思います。

音楽ジャーナリスト 音楽評論家　伊熊 よし子
音楽教育専攻　1972年大学卒業


A

I


B

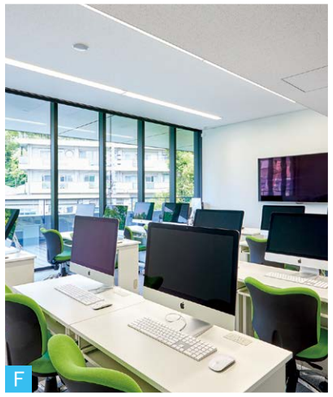


C

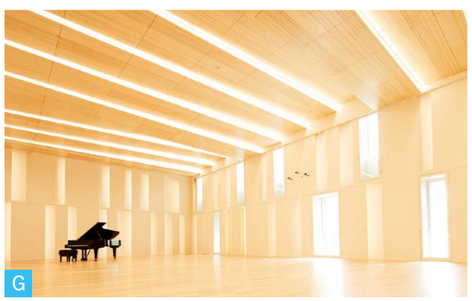
D

I

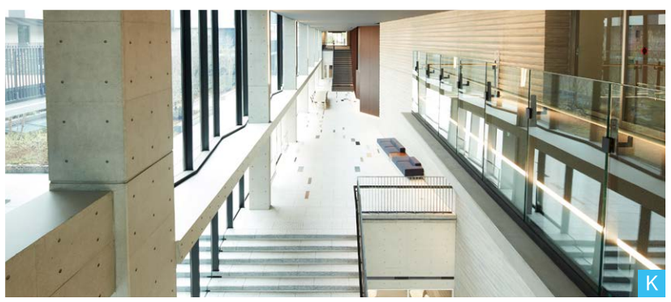
E


F

J


G

H


K

中目黒・代官山キャンパス： グッドデザイン賞、第61回BCS賞、2021年日本コンクリート工学会賞受賞

中目黒・代官山キャンパス

A TCMホール

音が回遊し包まれるように設計されています。ソロ、デュオはもちろん、室内オーケストラも最適な響きで演奏、鑑賞することができます。

B レッスン室

80室以上あるレッスン室は、木のぬくもりを感じる最適な音響を備えています。音の反射、拡散、吸音のバランスを考慮した穴あき特殊壁。

C 練習室

レッスン室同様に最適な音響を備えています。
2キャンパス合わせていつでも練習できる部屋数を有し、練習に集中できます。

D キーボード室

キーボードハーモニーやピアノ・プラクティカル・トレーニングなどの授業が行われています。

E TCMスタジオ

全専攻の学生が利用できるレコーディングスタジオです。最先端の録音機材を採用し、コンクールのデモテープの収録も可能。

F コンピュータ室

Apple Macintoshコンピュータを活用した楽譜作成の技術を習得する授業を開講しています。

G 教室

特大・大・中・小19室あるさまざまなタイプの教室。
特大教室は、音楽ホールに近い響きをもち、TCMスタジオと連動して録音が可能。

H 学生レストラン

「音楽の森」と「みどりの鎌倉街道」に囲まれた、自然を感じる安らぎのあるレストランです。

I クリエイティブラボ

学生レストランに隣接した、新しい学びを得るための空間。学内イベントや教育プログラムとの連携、コミュニケーションの場でもあります。ガラスで仕切られた自習スペースでは集中して学習に取り組めます。

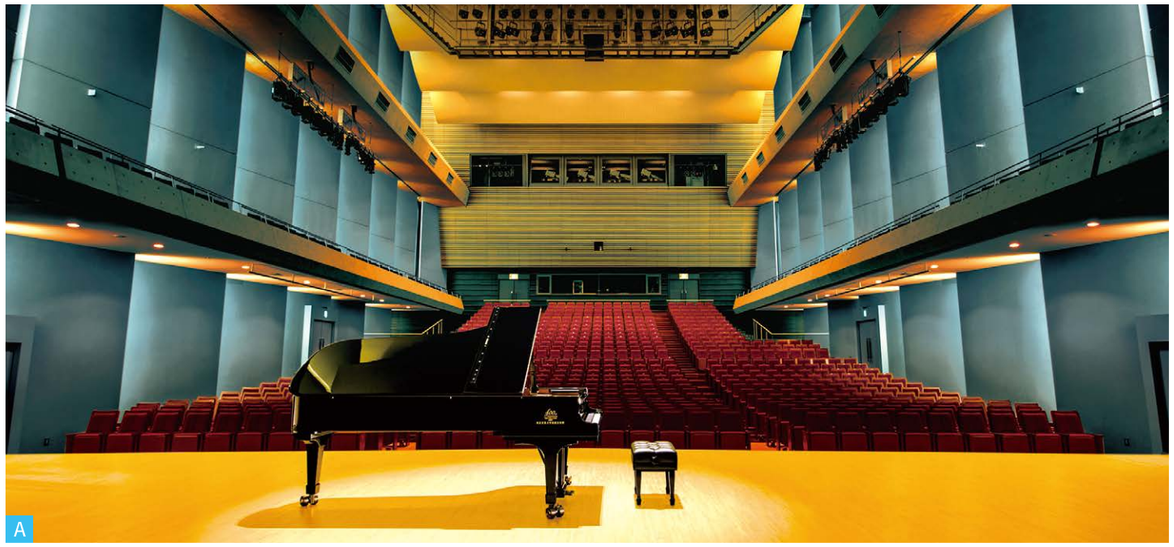
J みどりの鎌倉街道

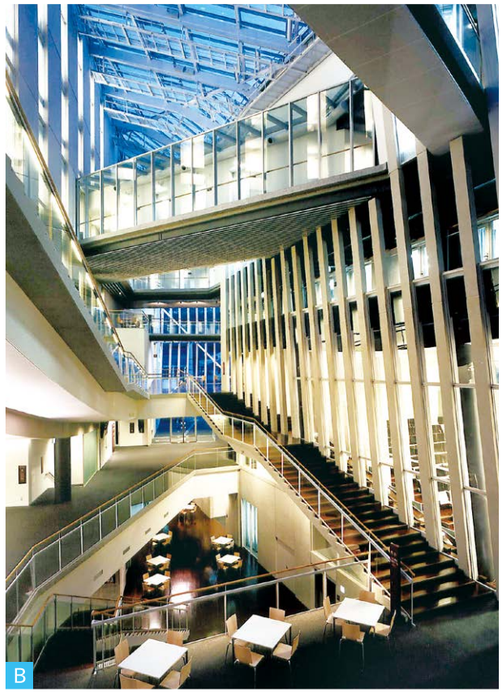
第28回緑の環境プラン大賞特別企画
『おもてなしの庭』部門の大賞を受賞。

K ガレリア

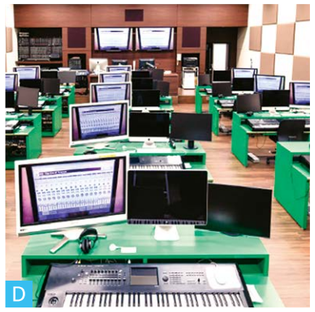
レッスン棟と事務棟を結ぶ渡り廊下からの眺め。

中目黒・代官山キャンパス
紹介動画


A


B

C

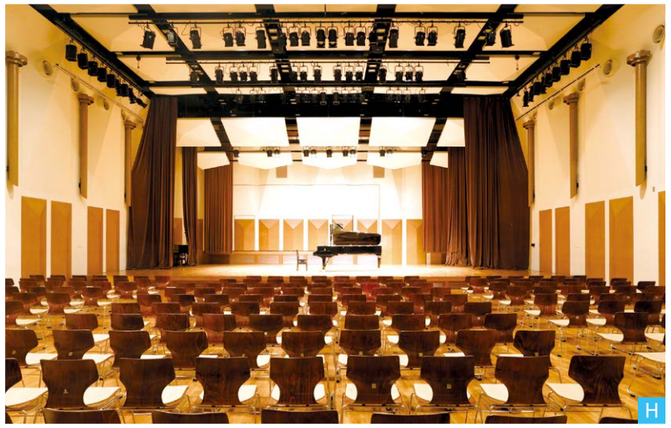

D

D

E

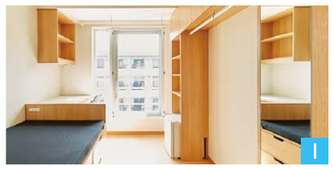
F

G

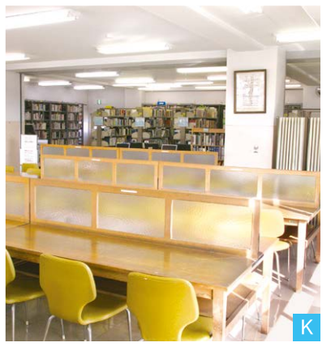

H

I

I


I

J


K

池袋キャンパス

A 100周年記念ホール

806席あるシューボックス型の音楽ホールで、オペラ上演をはじめ、年間多くの演奏会を開催しています。

B ガレリア

トップライトから自然光が降り注ぐ吹き抜けのガレリアを中心に、周辺にガラスを効果的に用いた練習室を配置した開放的な空間。

C 練習室

二重遮音構造で、思いきり音を出しても校舎内外への影響を極小に抑えられています。個室の練習室以外にも、打楽器や楽器のアンサンブル専用の広い練習室が多数あります。

D J館地下レコーディングルーム/DAWルーム

商業音楽分野で必要とされる作編曲技法の修得、スタジオレコーディングなどを学ぶ場所です。
2019年に大幅な改修工事を行い、さらに充実した設備環境を実現しました。

E 教室（ミニホールA200教室）

高度な音響性能を要求される教室が多数配置されています。ミニホール（202席）は教室として講義や公開レッスン、試演会などにも使用されます。

F B館スタジオ

オランダ製のパイプオルガンを配置したスタジオ。
オルガンレッスンのほか、オーケストラや吹奏楽などの授業が行われています。

G J館

2020年度より付属高等学校が池袋キャンパスに移転したことに伴い、特色ある高大一貫教育を推進しています。

H J館スタジオ

演奏会、オペラ上演、公開レッスン、公開講座などさまざまな用途に使用されています。

I 学生寮（女子寮）

一人暮らしをする学生の福利厚生の充実のため、2022年4月、池袋キャンパス内に新たな学生寮が開寮しました。

J 付属民族音楽研究所

K 付属図書館

池袋キャンパス
紹介動画

発行日：2022年5月31日

東京音楽大学

中目黒・代官山キャンパス(学校法人本部)

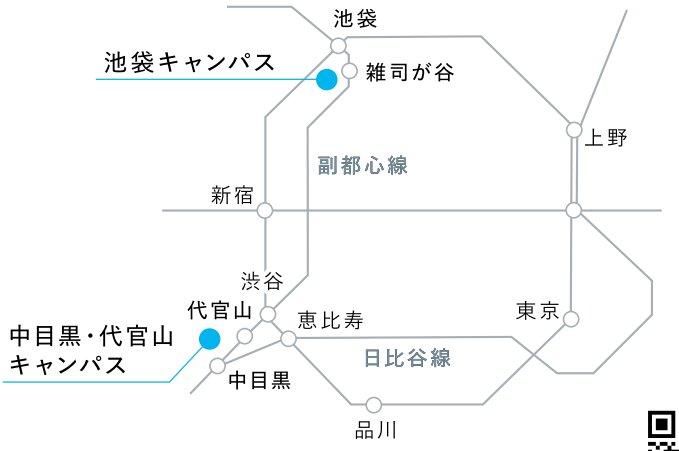
〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1
TEL.03-6455-2700　FAX.03-6455-2770

Ｊ　Ｒ／「恵比寿駅」より徒歩約14分
私　鉄／東急東横線「中目黒駅」・「代官山駅」より徒歩約5分
地下鉄／日比谷線「中目黒駅」より徒歩約5分

池袋キャンパス

〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5
TEL.03-3982-3186　FAX.03-3982-3183

Ｊ　Ｒ／「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分
私　鉄／西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分
地下鉄／丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分
　　副都心線「雑司が谷駅」より徒歩約5分
都　電／荒川線「鬼子母神前停留場」より徒歩約3分
都バス／「南池袋一丁目」より徒歩約3分



https://www.tokyo-ondai.ac.jp